



名人對局抄

9多  
1.130  
3





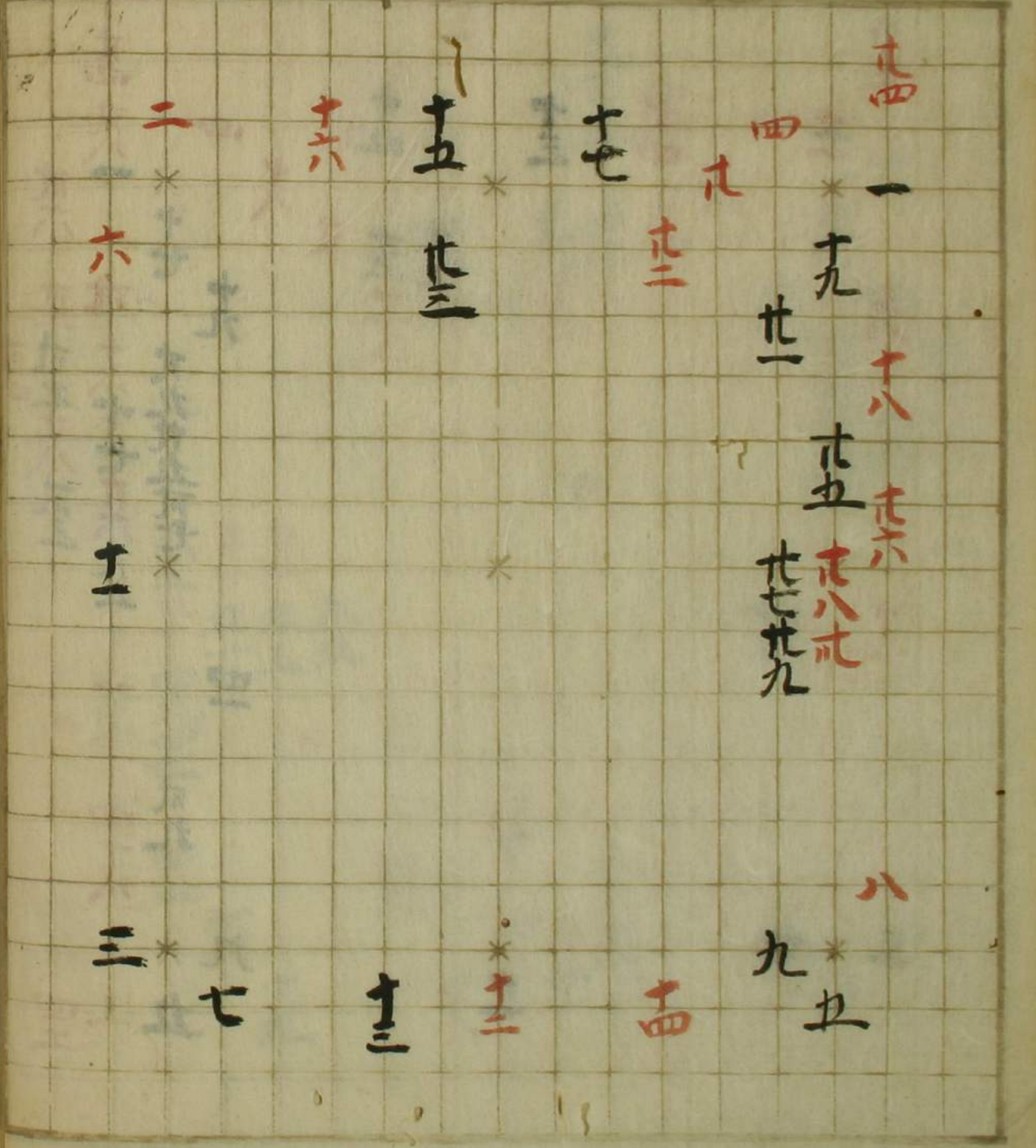




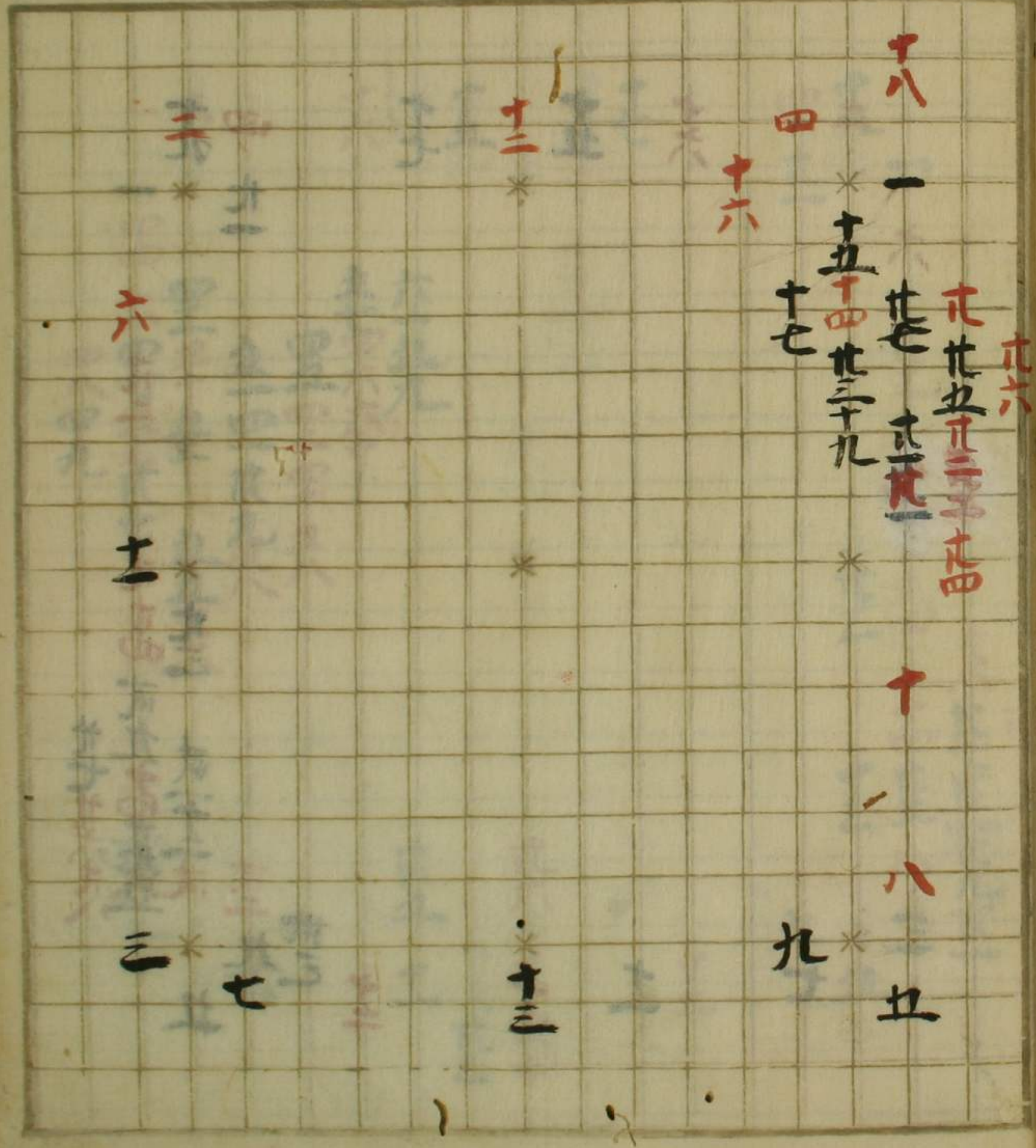




第...  
 石...  
 馬...  
 ナ...  
 打...  
 手...  
 幸...  
 白...  
 白...  
 白...  
 白...



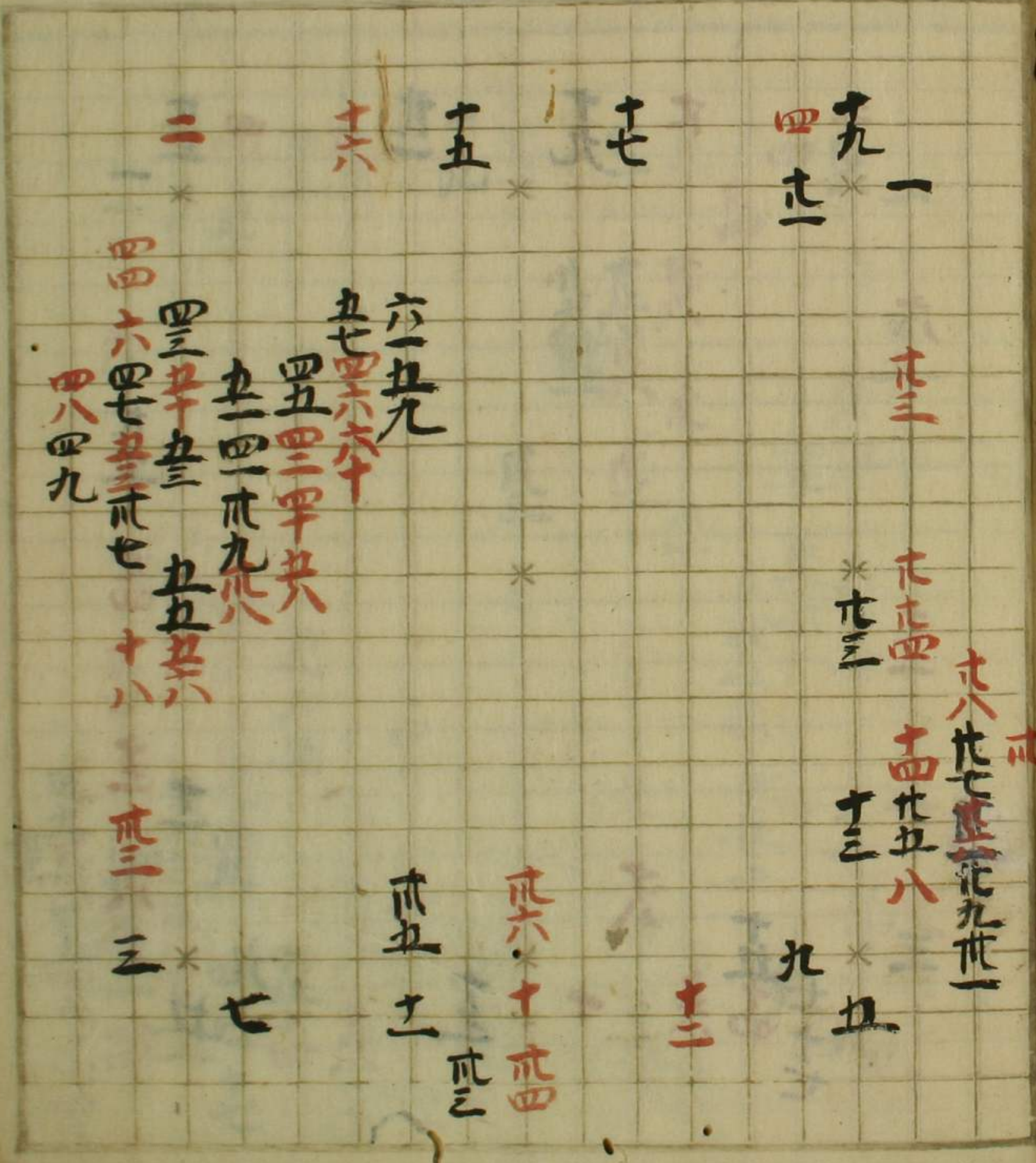
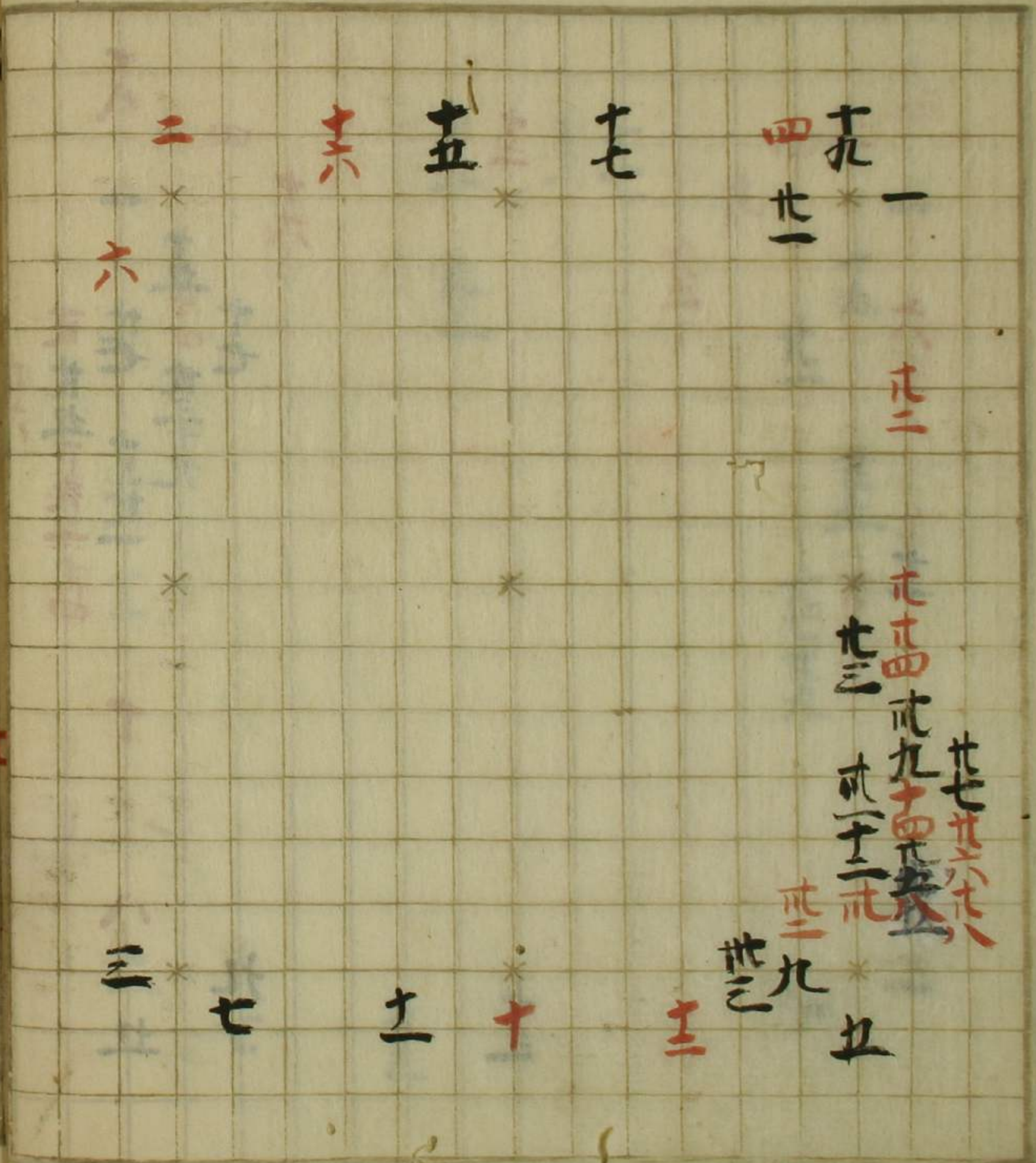
第...  
 先...  
 馬...  
 ナ...  
 打...  
 手...  
 幸...  
 白...  
 白...  
 白...  
 白...





第の...  
 三十三  
 馬の...  
 川の...  
 白...  
 角...  
 白...  
 角...  
 角...  
 角...

第の...  
 三十三  
 馬の...  
 川の...  
 白...  
 角...  
 白...  
 角...  
 角...  
 角...

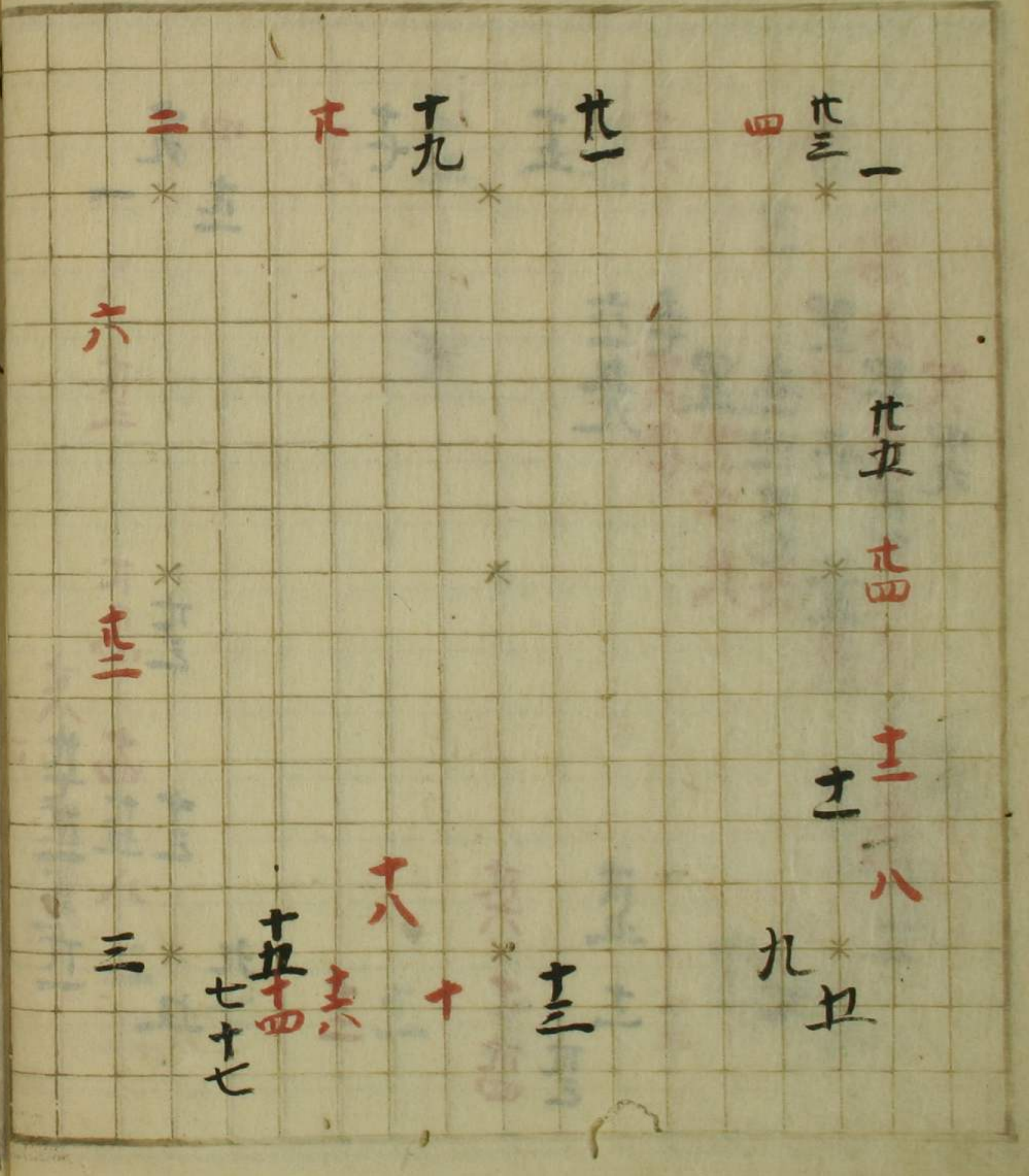




第...八  
 白十九の...  
 市の...  
 ...

第...九  
 先...  
 ...

...  
 ...





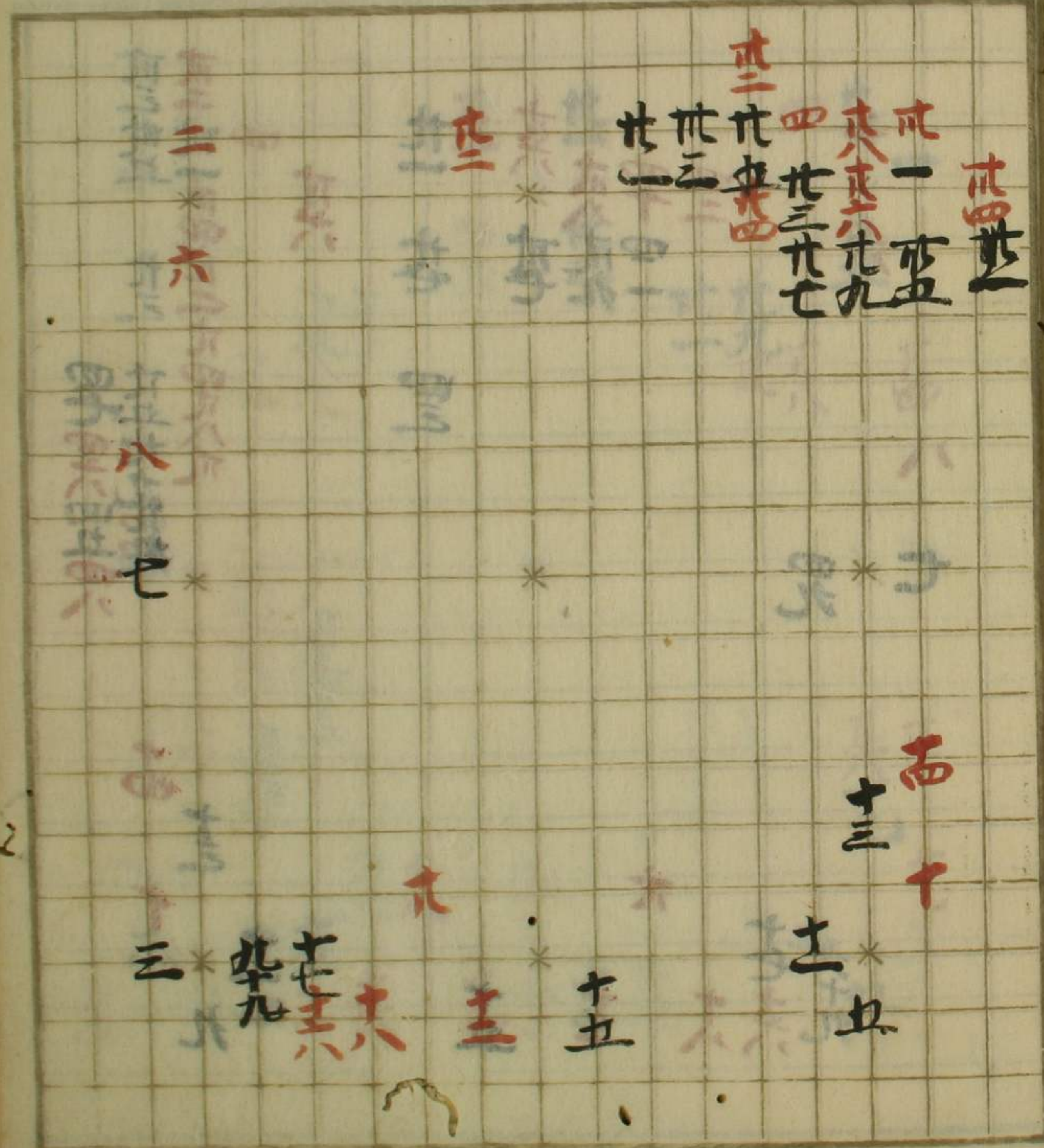




弟の之十二  
 三十一  
 石の八十一  
 白九の七  
 九一の四  
 とは思ふ  
 一の多  
 掛るも

弟の之十二  
 三十一  
 石の八十一  
 白九の七  
 九一の四  
 とは思ふ  
 一の多  
 掛るも

弟の之十二  
 三十一  
 石の八十一  
 白九の七  
 九一の四  
 とは思ふ  
 一の多  
 掛るも





弟のてすに  
 早のり  
 之能ひは  
 多うはるま  
 早のりは  
 胸のまを  
 白平陽を  
 多うはるま  
 のまはるま  
 してはるま  
 格

弟のてすに  
 早のり  
 之能ひは  
 多うはるま  
 早のりは  
 胸のまを  
 白平陽を  
 多うはるま  
 のまはるま  
 してはるま  
 格

二  
 三  
 四  
 五  
 六  
 七  
 八  
 九  
 十

其

北 七 四

其 七 七

其 四 一

三

二 六

八 七 兎

西 十  
 十一 九

十一

十五

三

七 六

九 九

一 七 五  
 四 七 八  
 高 八

七 九 十  
 十一 九

北 七 三

三

六 三

五 四

三 七

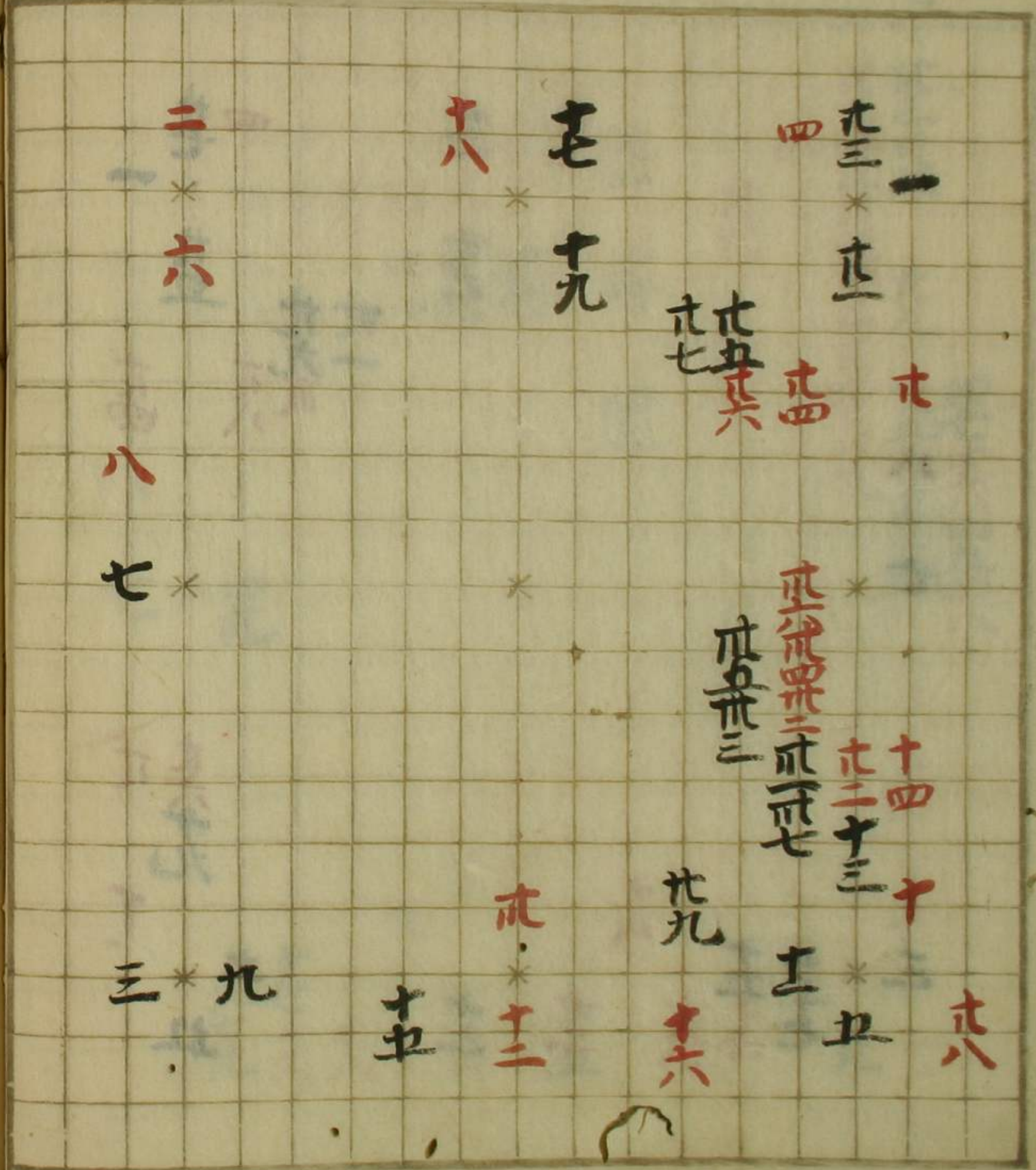
二 六

八 七

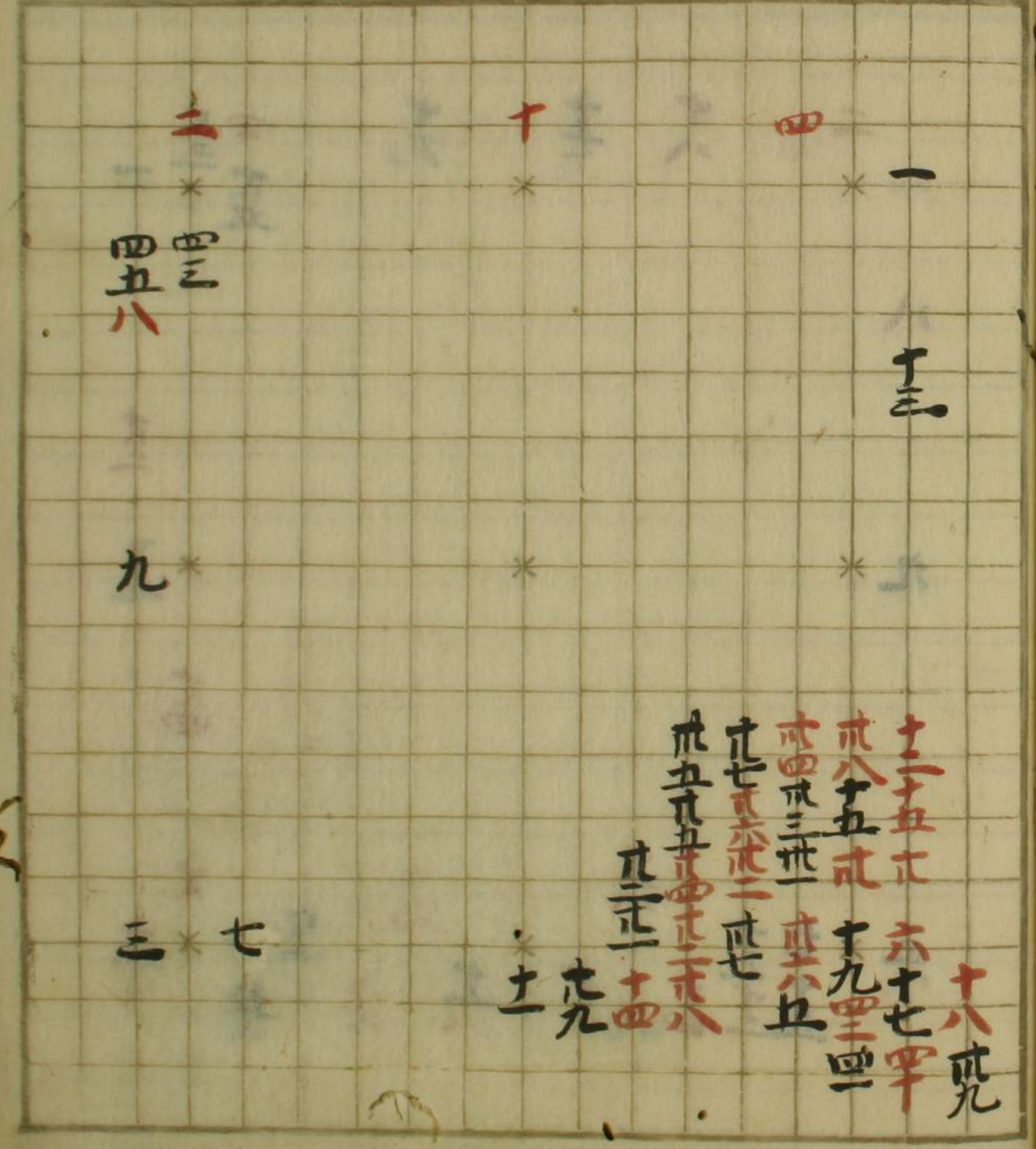
三



弟めえすえ  
 白十二十あり  
 赤たるええ  
 思もみみ  
 夕もみみ  
 くのこも  
 らもみみ

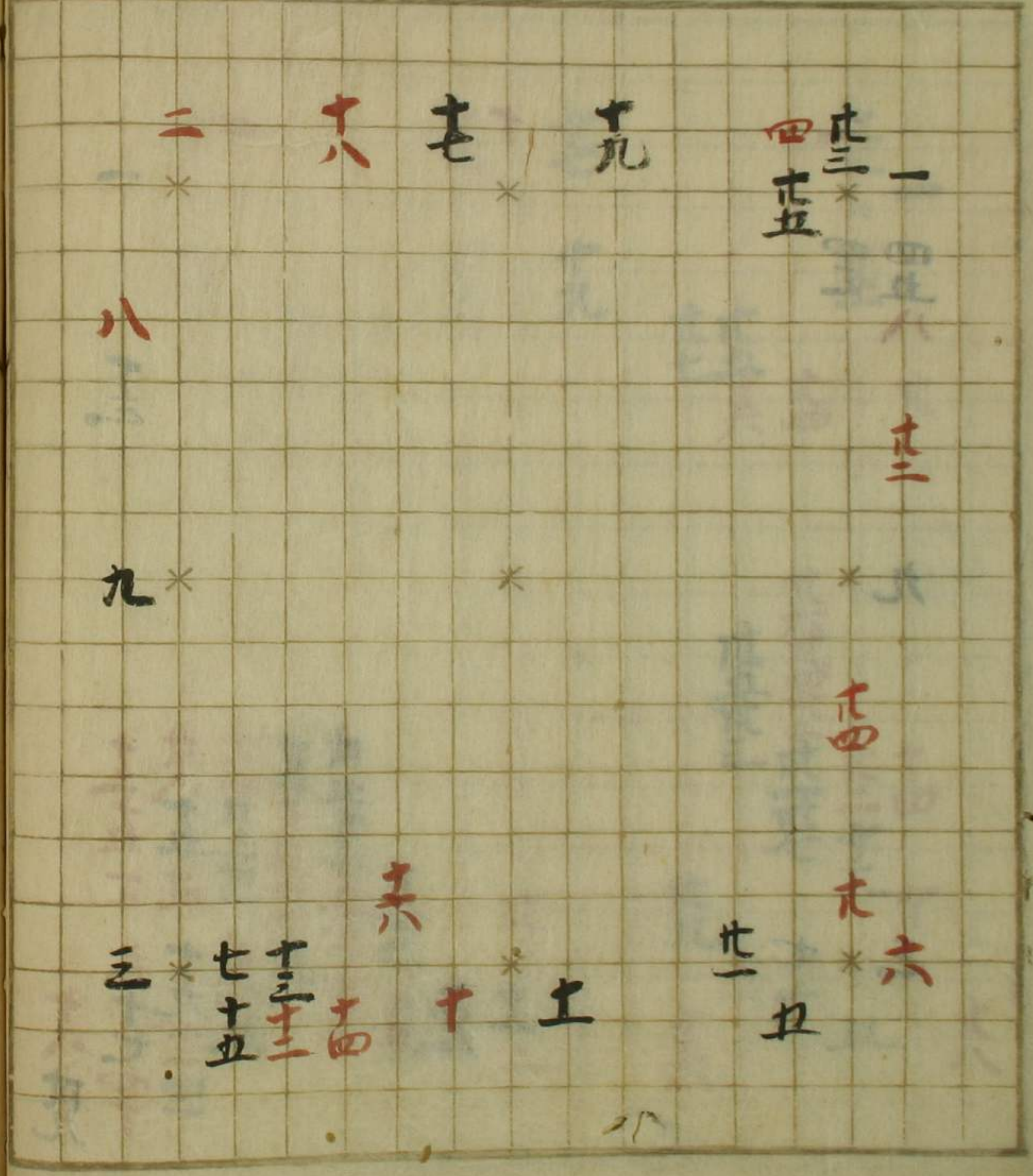


弟めえすえ  
 白字の世の  
 赤字の世の  
 黒字の世の  
 切りの世の  
 能うり  
 思のみみ  
 みもみ  
 世もみ

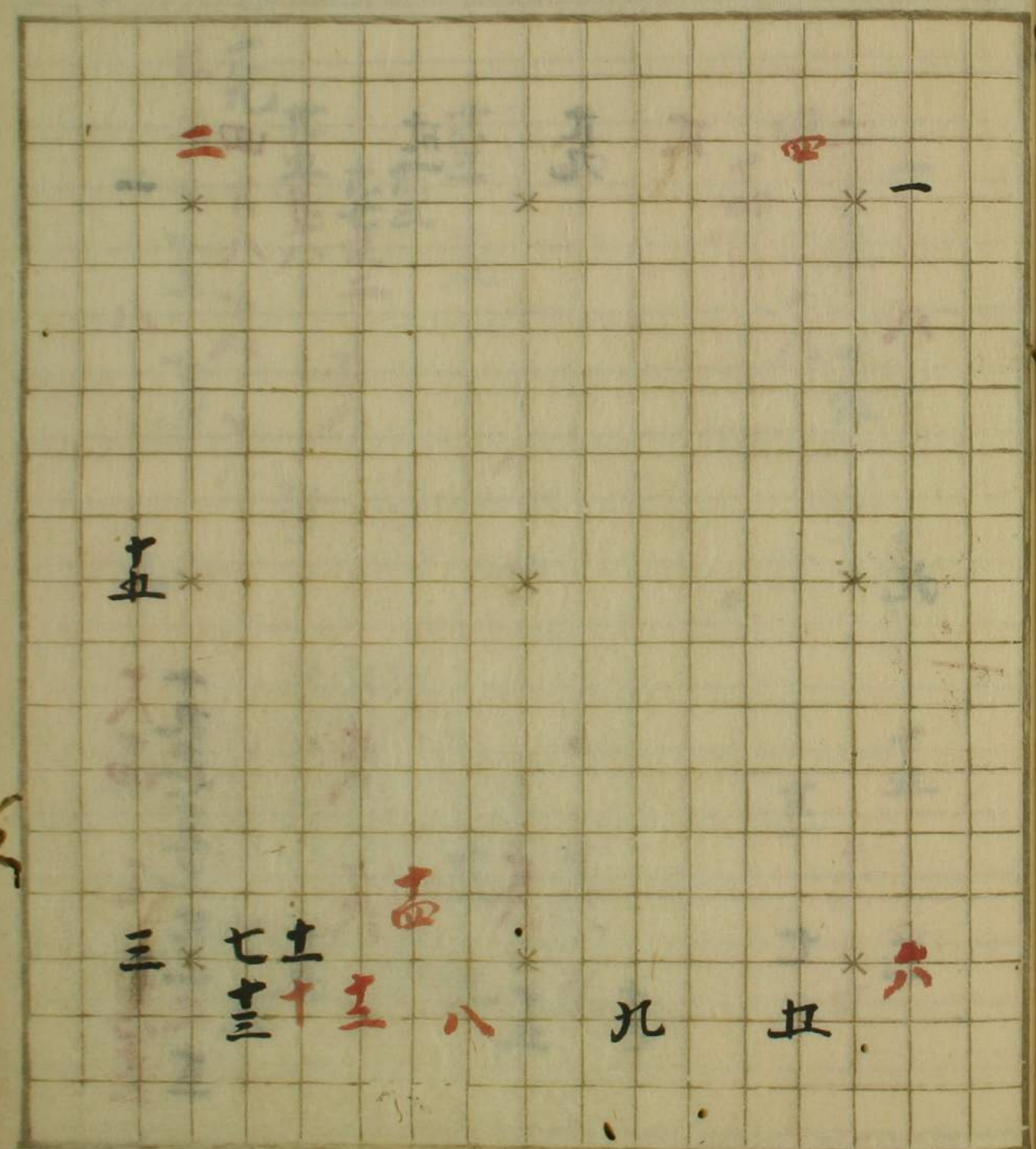




第六之二  
 世をきく  
 多し  
 右路  
 白八の次  
 とちと白十  
 の目の上  
 移る  
 一

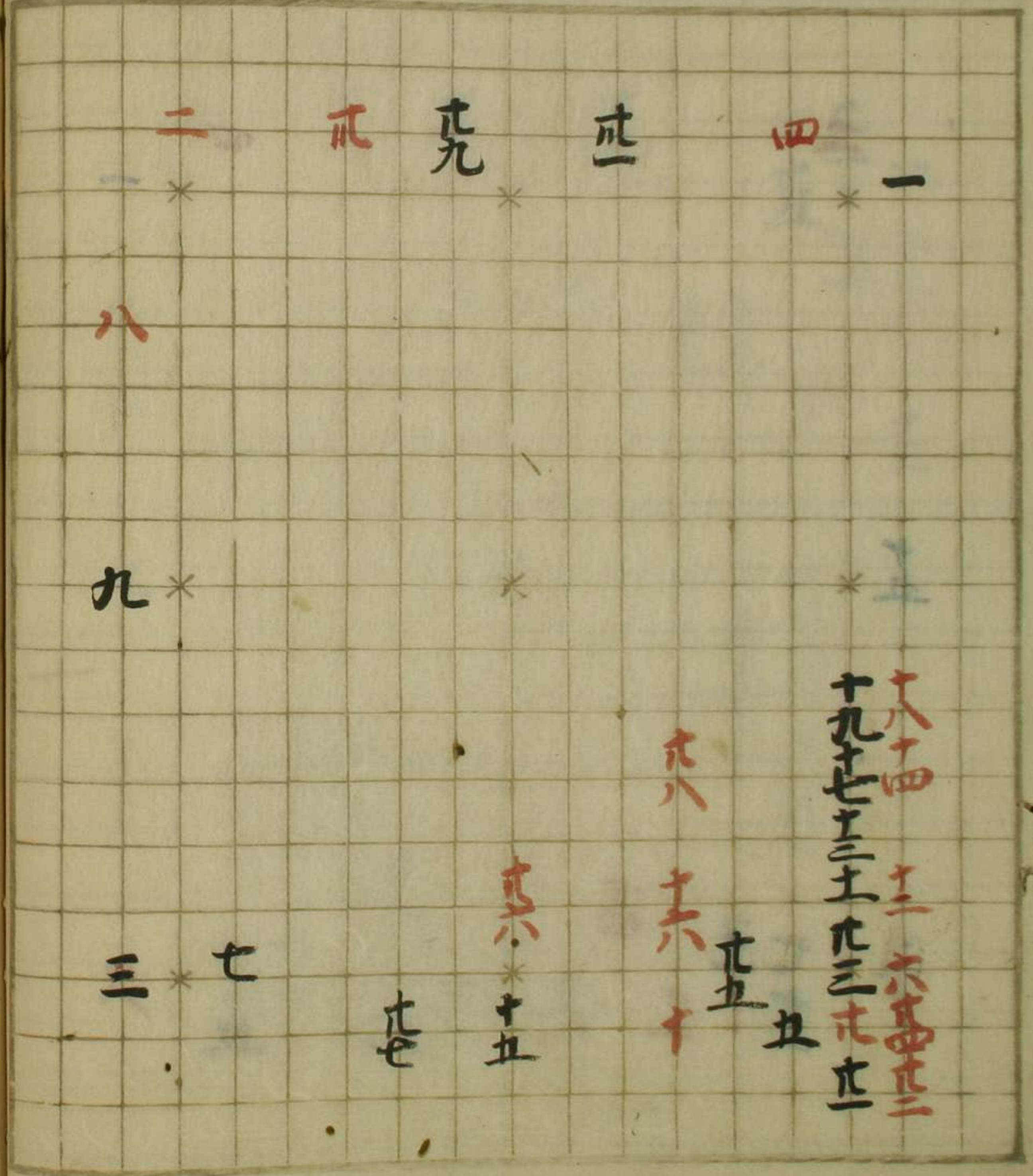


第六之三  
 かのの  
 入場  
 消て白の二  
 粒  
 全の  
 ち  
 年の  
 退

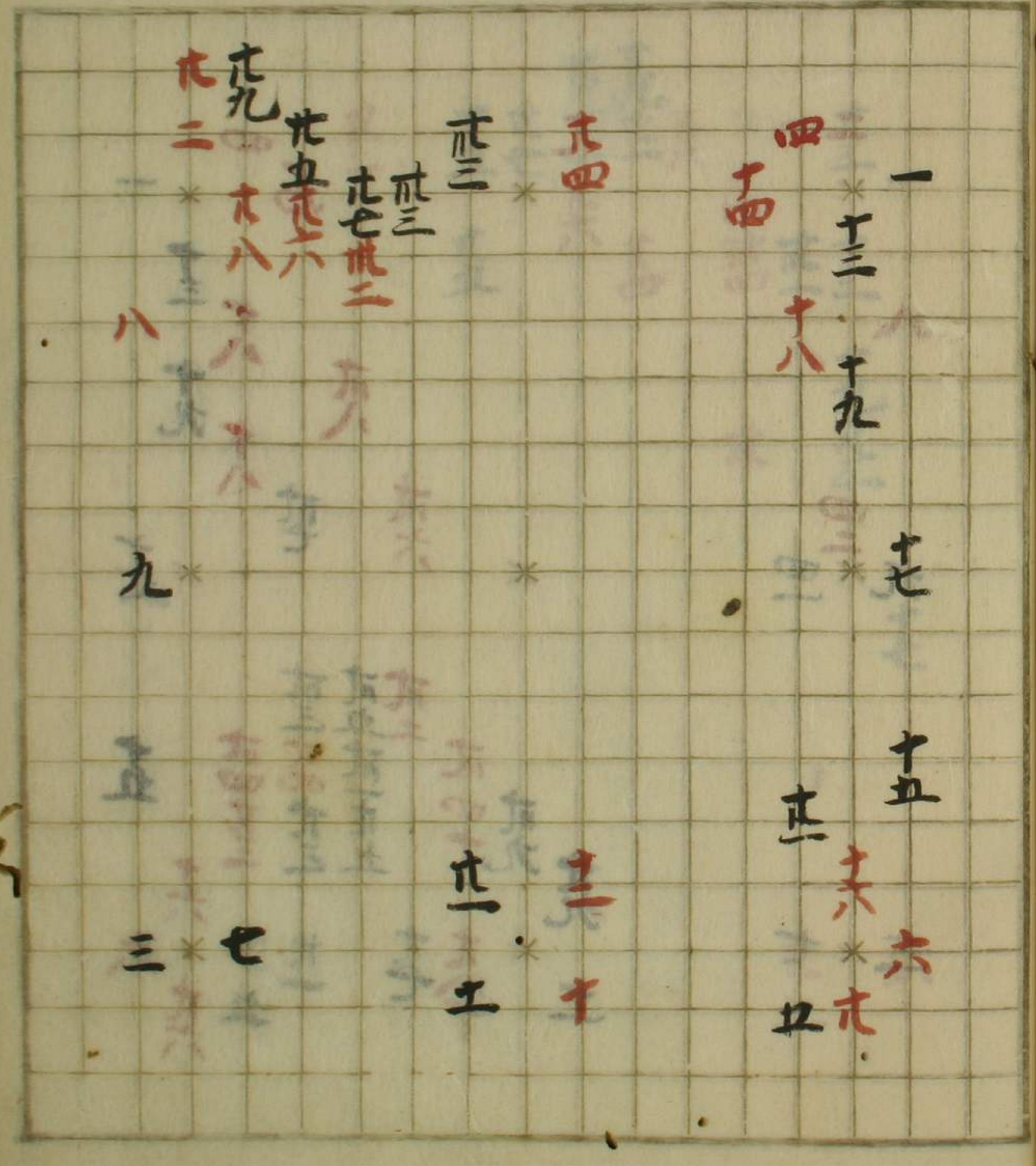




一のろり  
 介のろり  
 約金あり  
 きんねんを  
 ぶらりかく  
 のろり  
 十のぼり



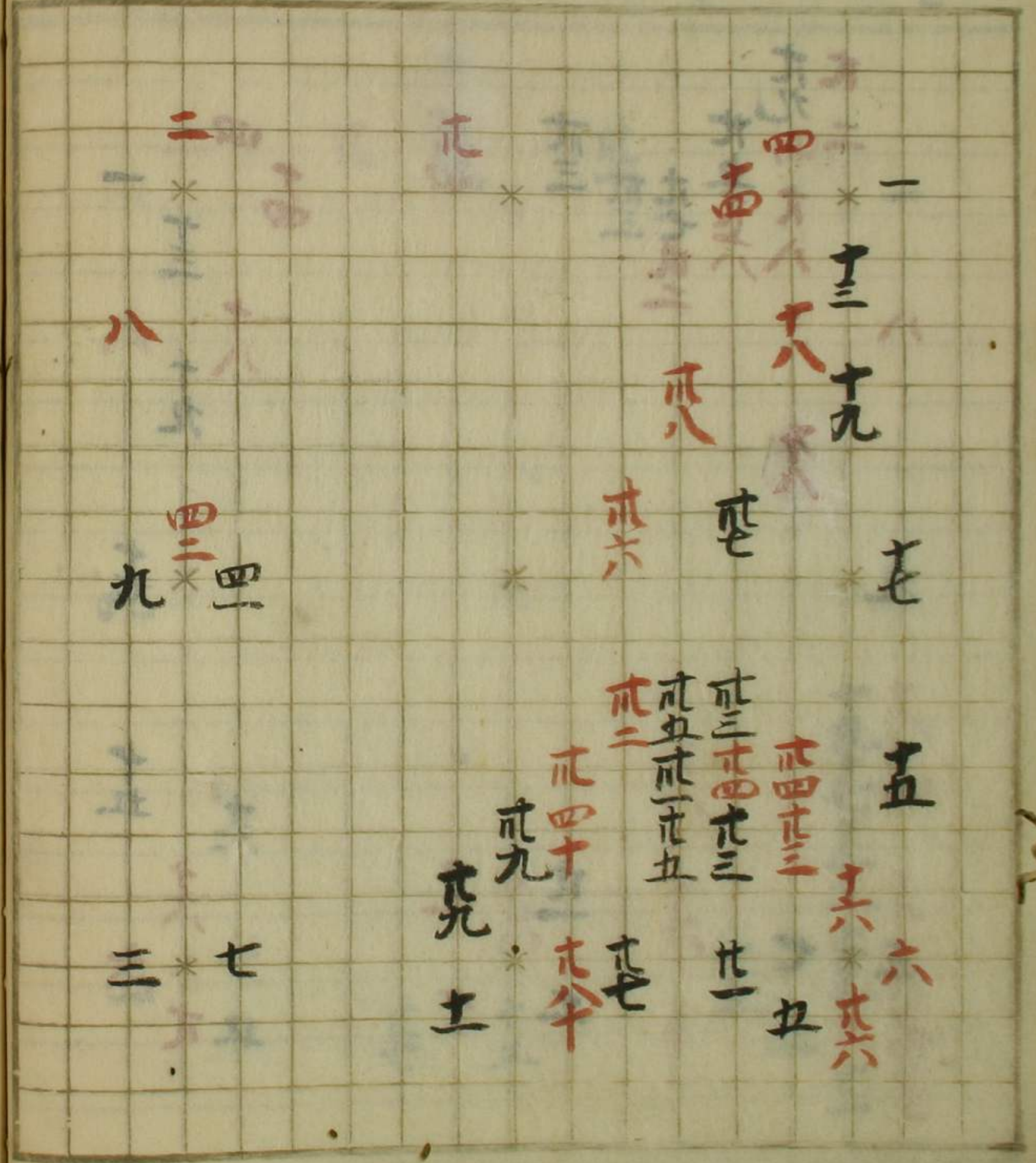
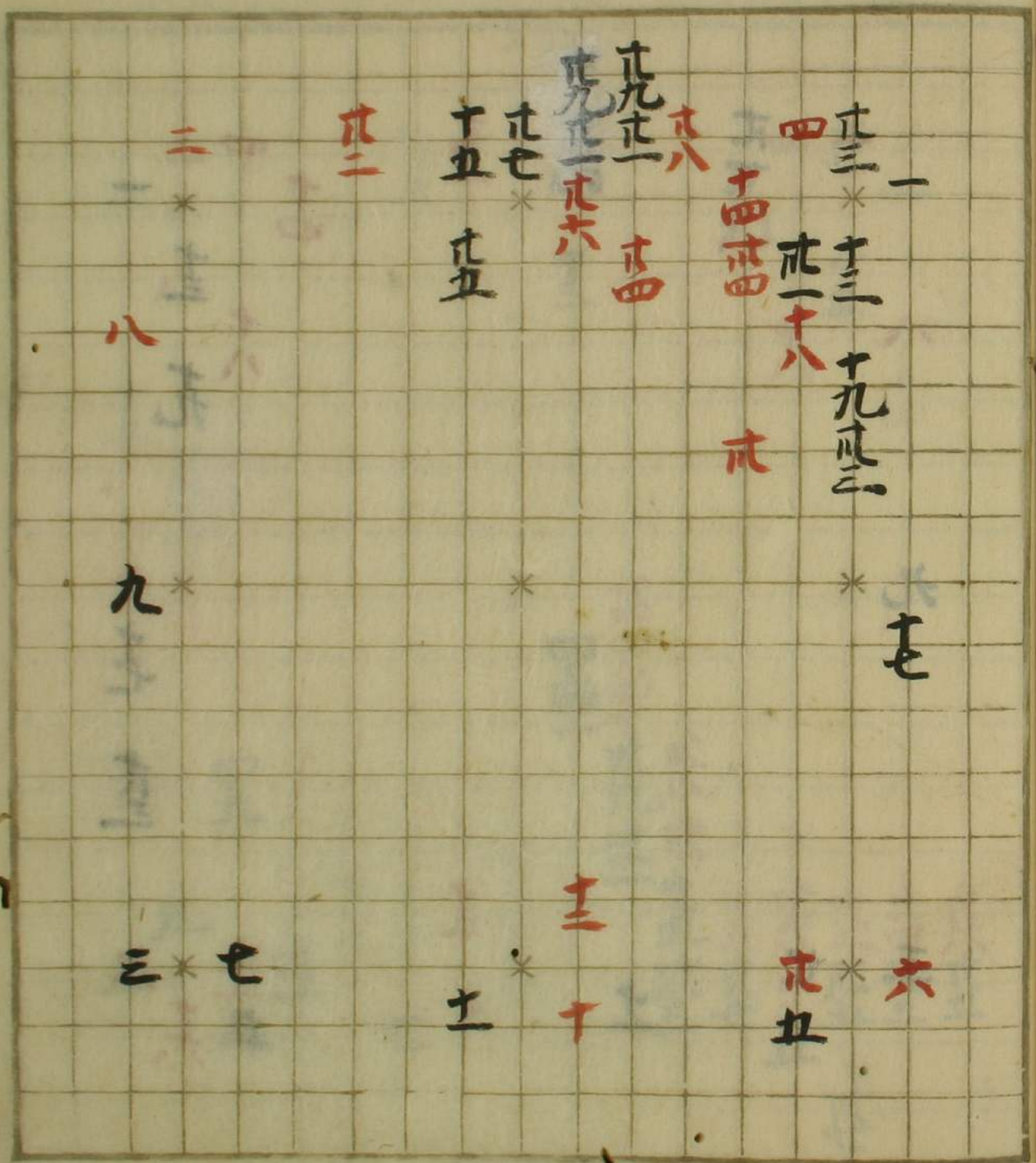
十のぼり  
 十のぼり  
 十のぼり  
 十のぼり  
 十のぼり  
 十のぼり  
 十のぼり  
 十のぼり  
 十のぼり  
 十のぼり





第百六之七  
 先概のぼ  
 茶の香か  
 かもとら  
 打と思中  
 以形と多  
 ハ一乃  
 去らう  
 十み  
 通と  
 小倍  
 活て

第百六之七  
 三十三  
 先概のぼ  
 茶の香か  
 かもとら  
 打と思中  
 以形と多  
 ハ一乃  
 去らう  
 十み  
 通と  
 小倍  
 活て

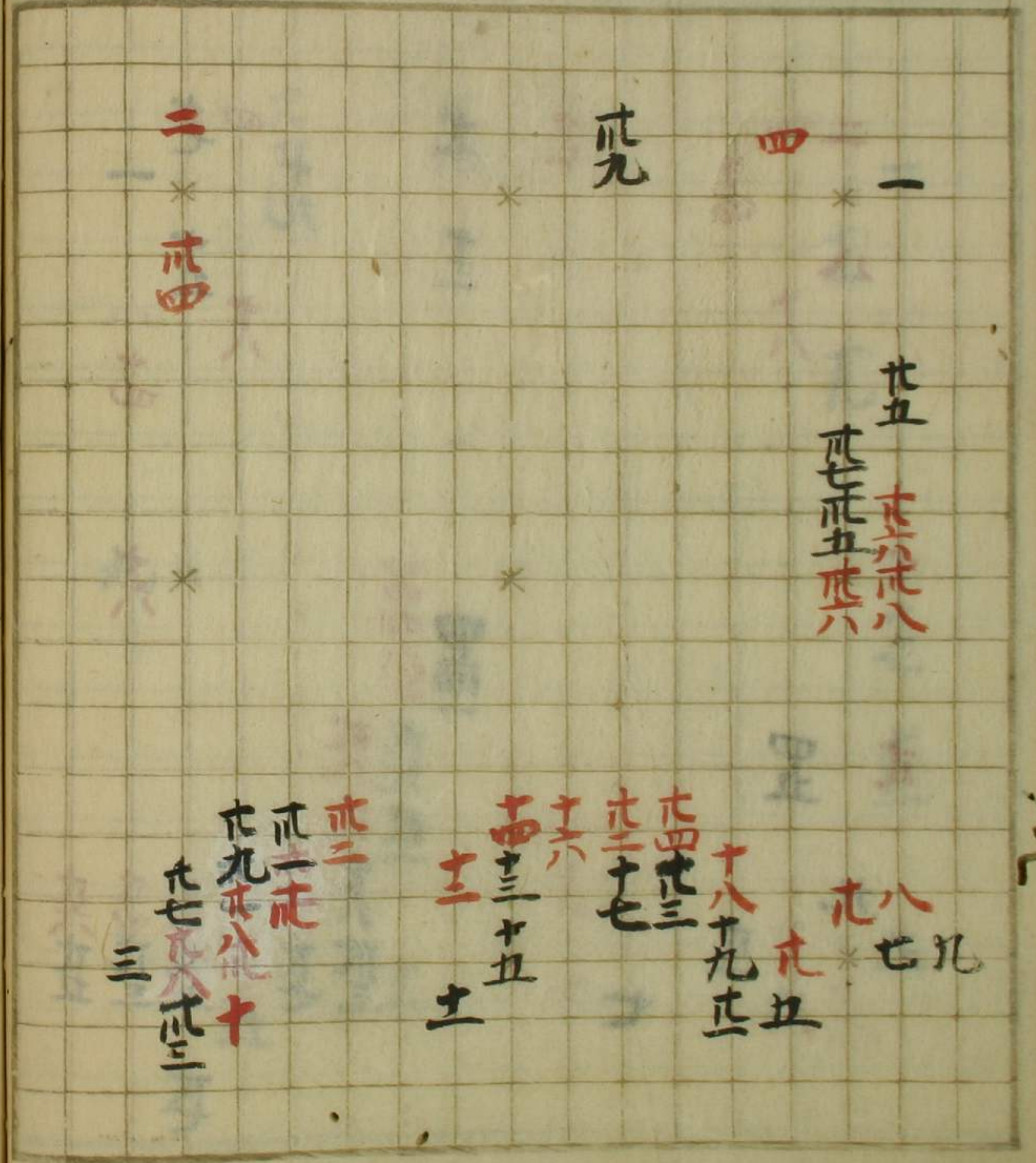




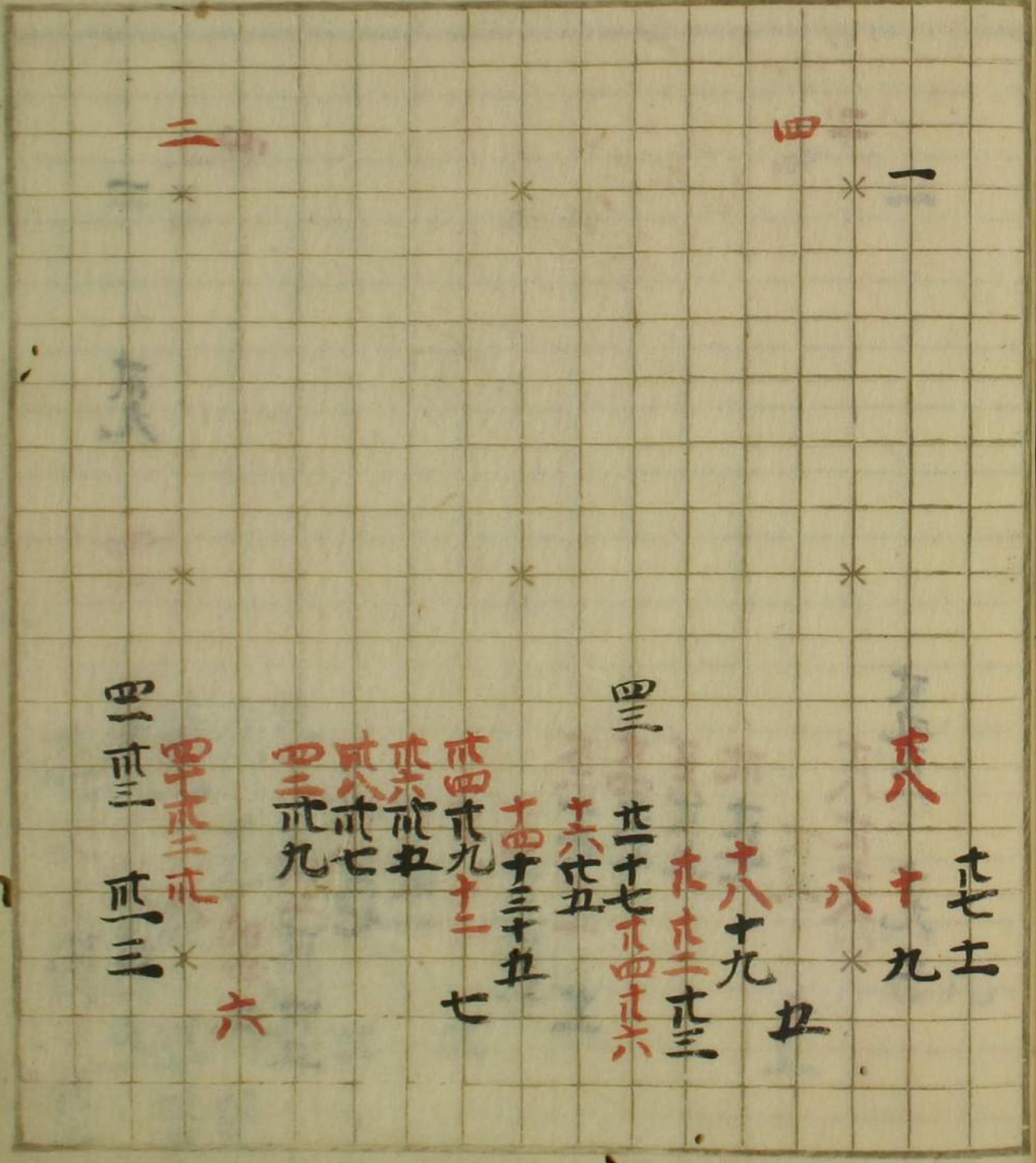




昇六之十一  
 三十九と  
 はるる白の大徳と  
 やみて升んるも  
 白のんしねとて  
 白方の位位あり  
 勝や白十八の町  
 の十九白の式の所  
 打た白の三の五押  
 る九黒のりきとて  
 白十八の所十九白  
 止の不正白の同  
 上紙を白十八の  
 白の五かきやこり  
 白止の五かきとて  
 の五か押しとて  
 所をとりて  
 此格よりあり



昇六之十一  
 四十二と  
 かくのしと  
 白てり白の飯  
 白お遠知  
 思ふまじし

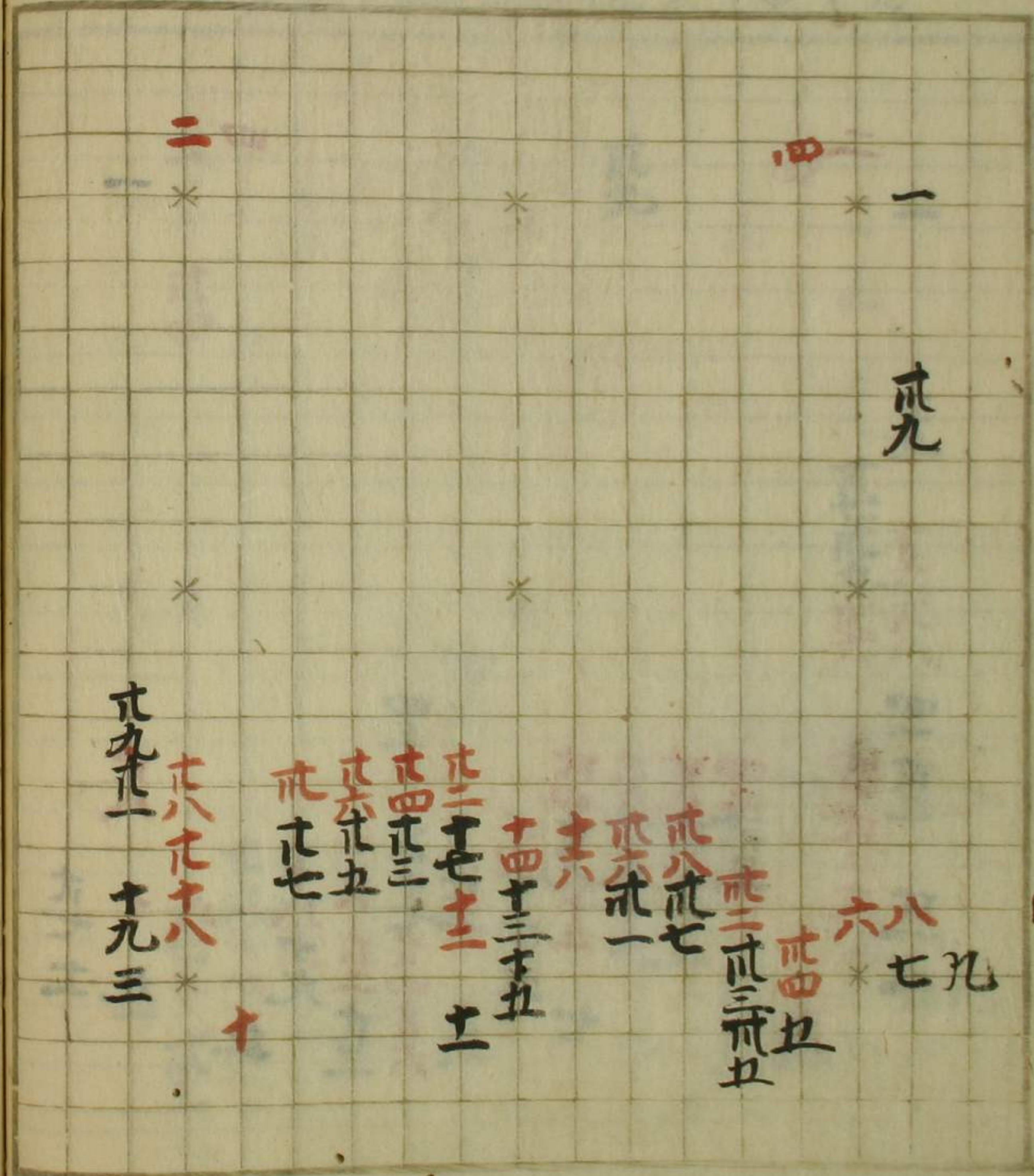
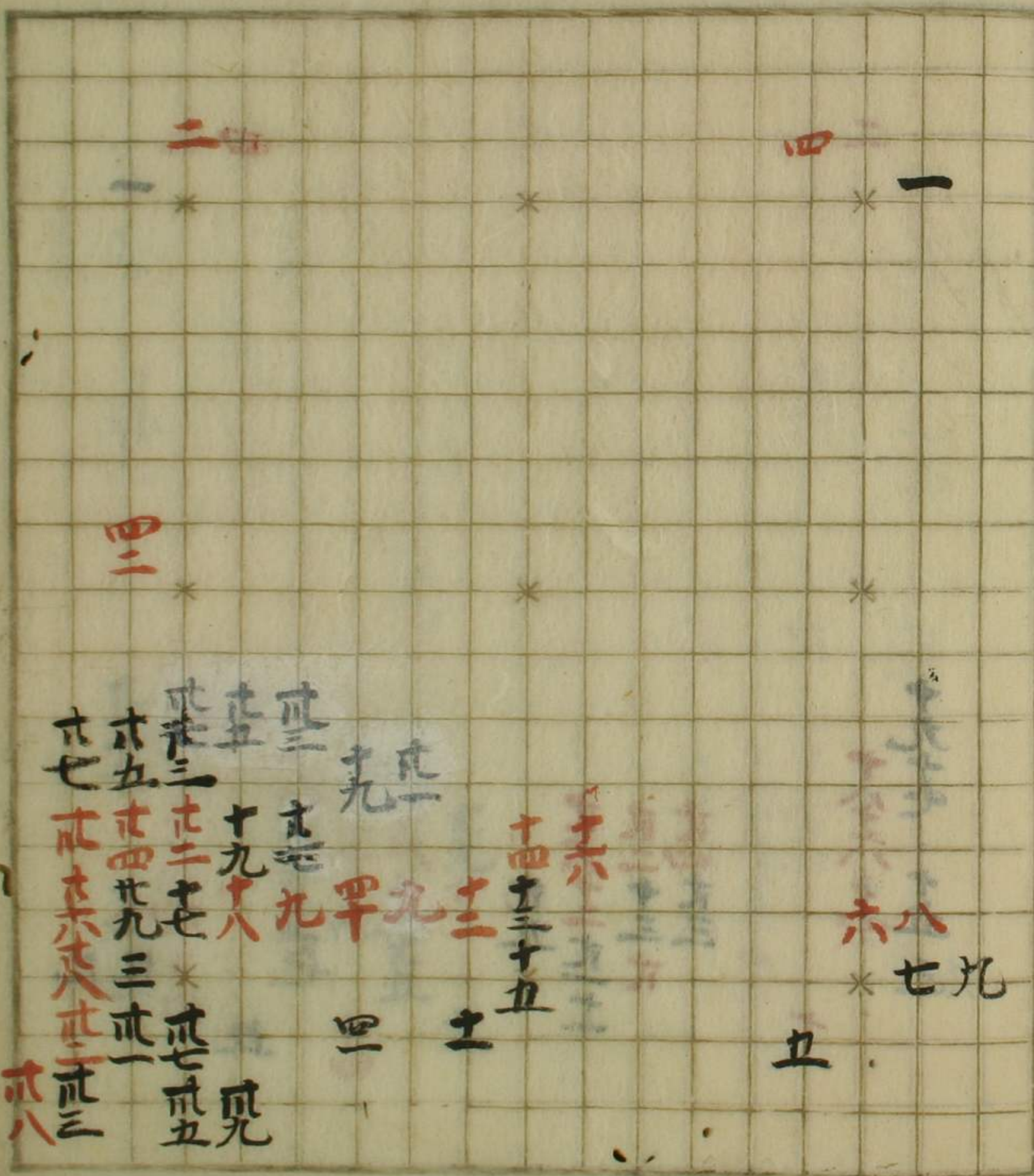


昇六之十一  
 四十二と  
 かくのしと  
 白てり白の飯  
 白お遠知  
 思ふまじし



第六之十二  
 三千九と  
 かくのトク  
 思千七とく  
 切るゆり  
 多うゆり  
 世形もあうれ  
 又右口て中の  
 位小流りあ  
 三ヶ切

第六之十三  
 四千二と  
 思世のこ  
 な節を  
 結してあは  
 白より十八計  
 てあは  
 の押しあは  
 押さきはあ  
 加りてあは  
 ろりけあは  
 てあは十七の  
 こみあは  
 知る

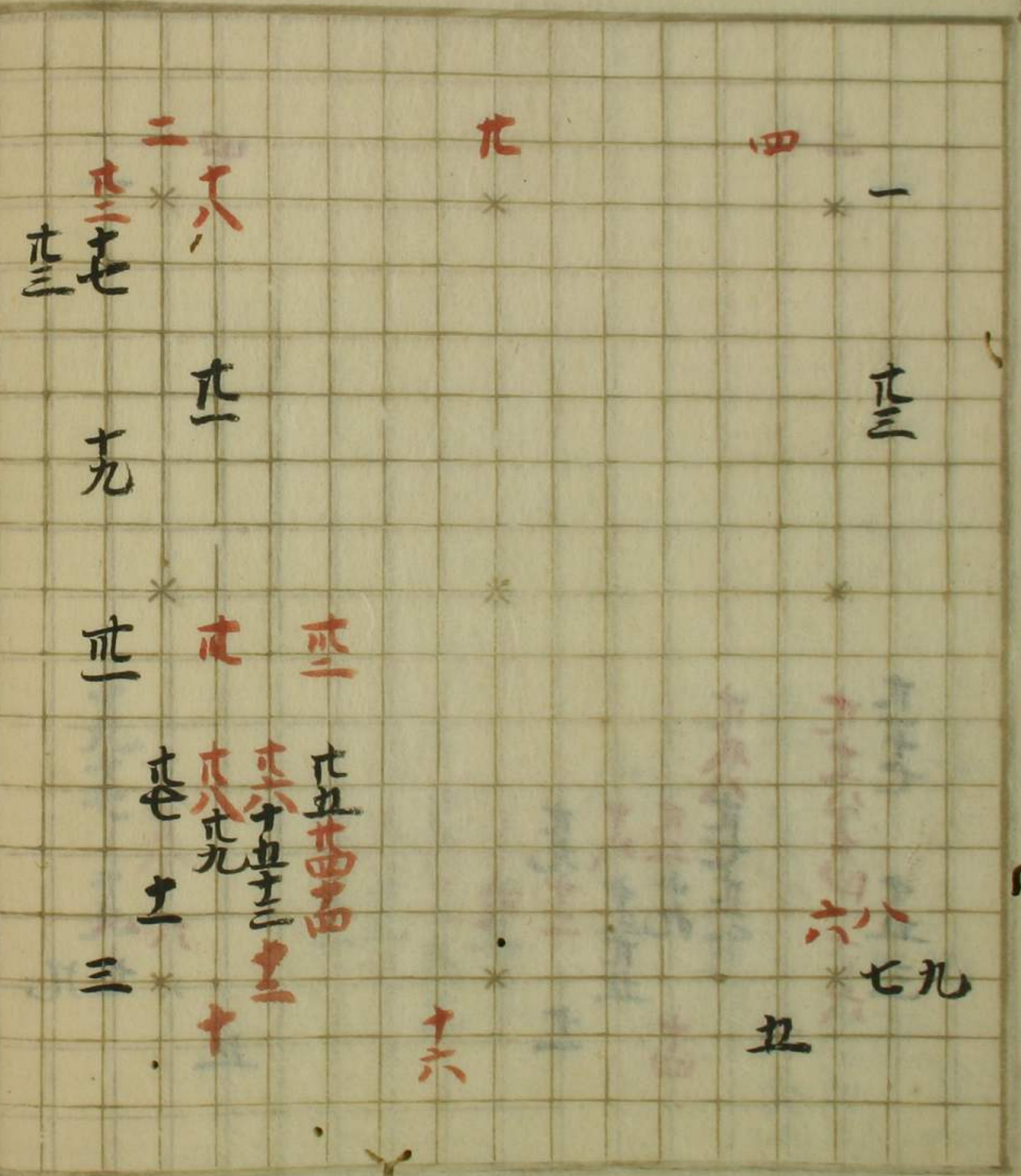




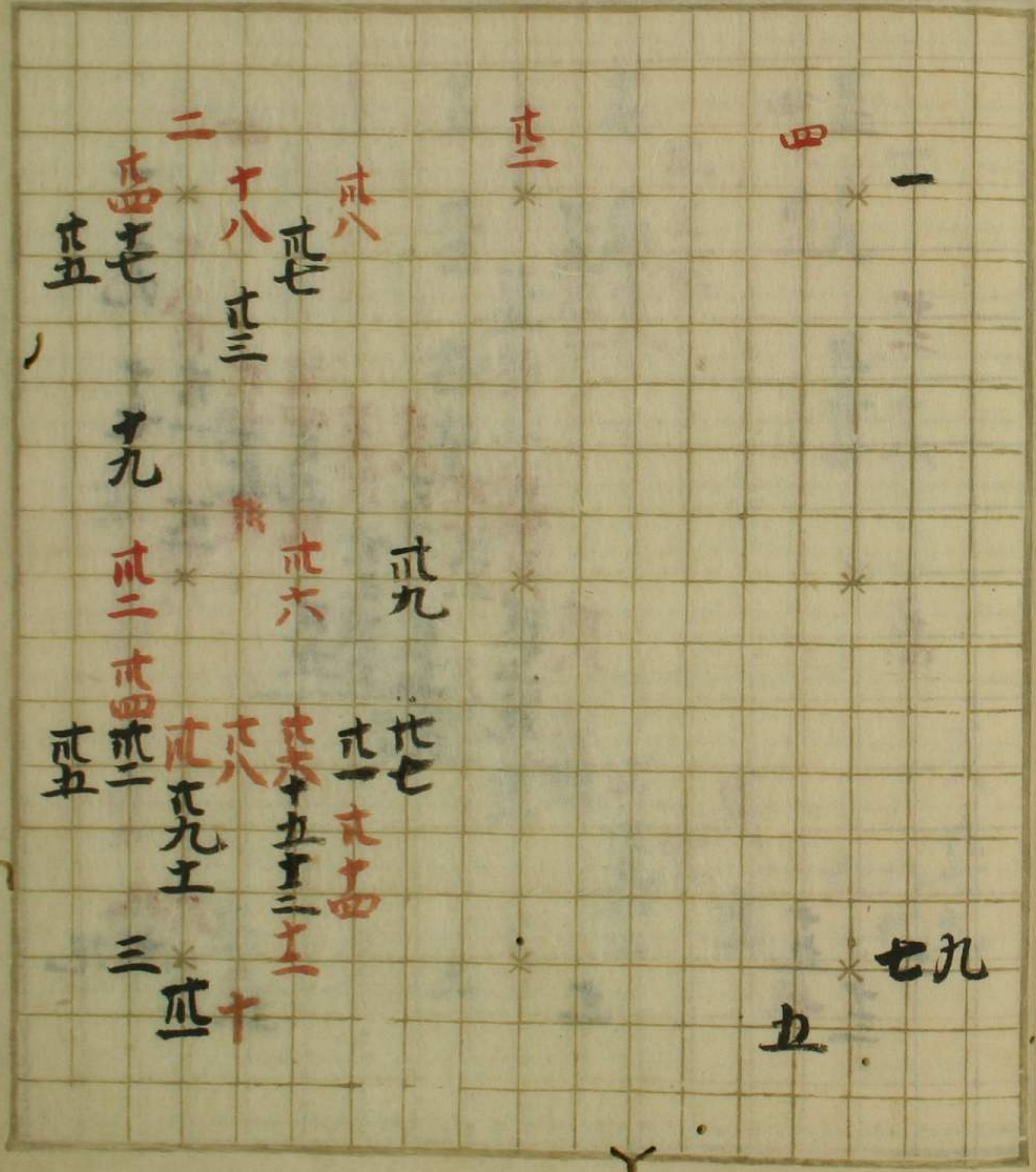




第百六十三  
 先麻の  
 思世  
 方い  
 ら



第百六十四  
 思世  
 方い  
 ら

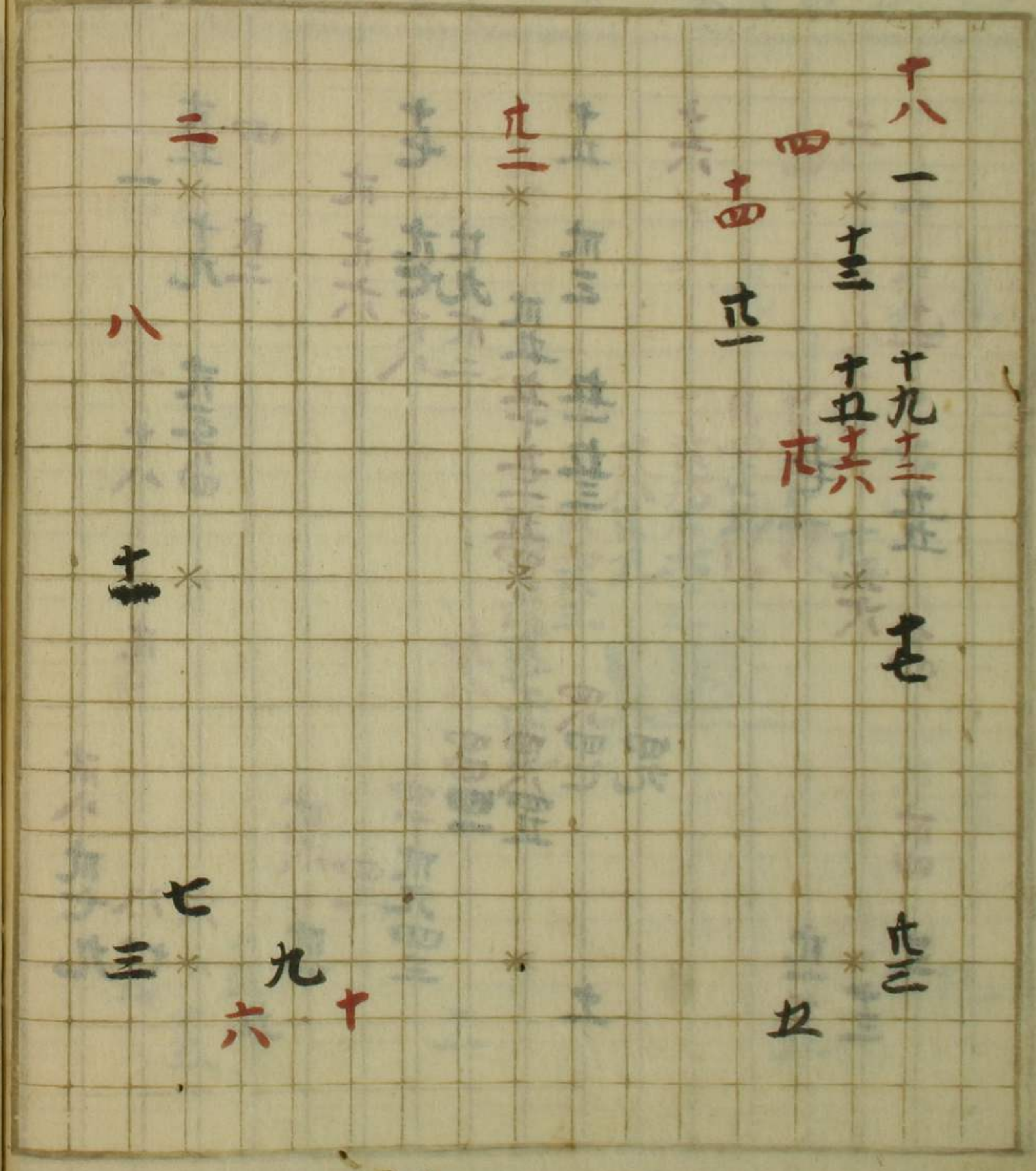




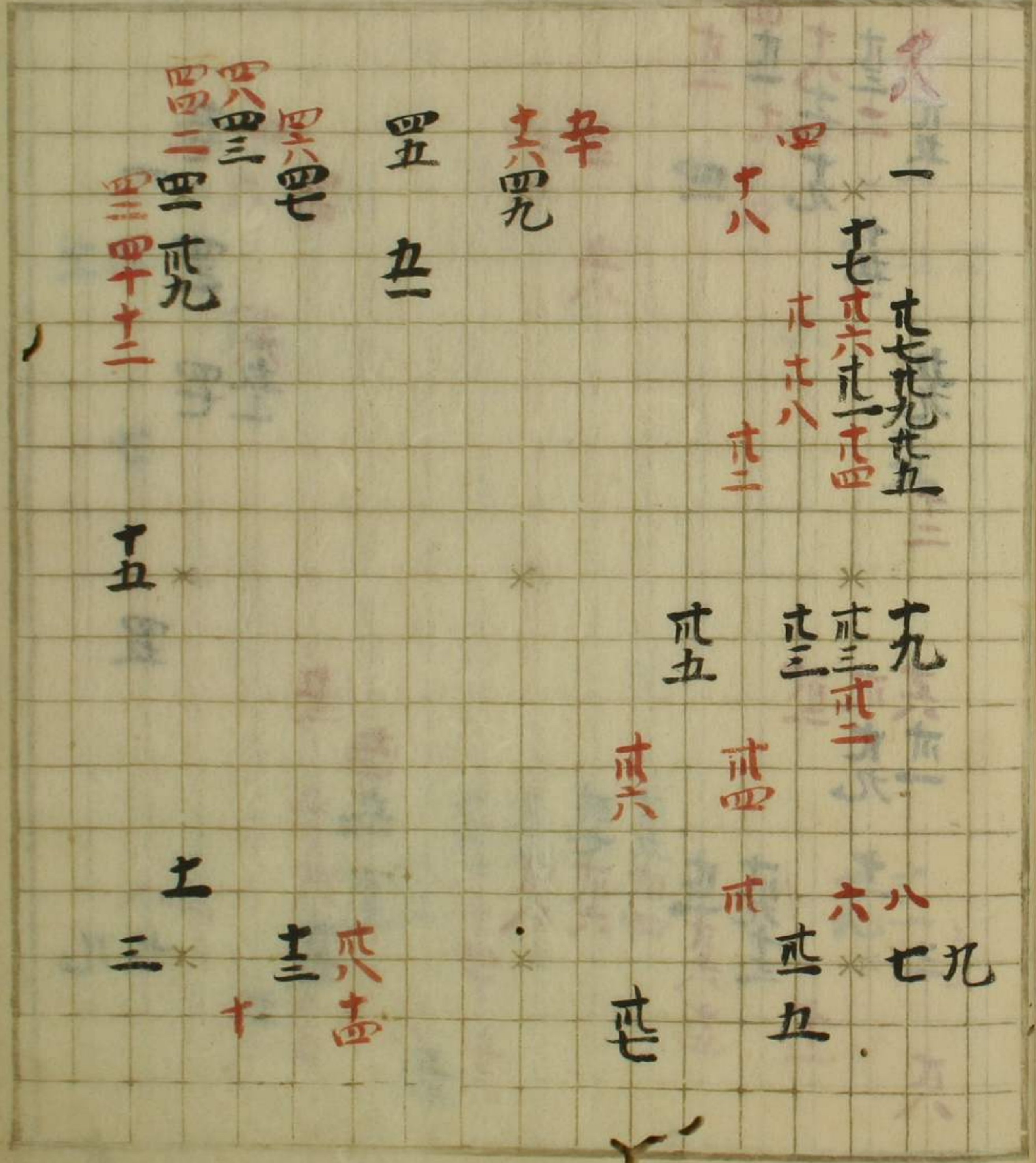




弟さしは  
 ちんちん  
 弟のしん白  
 しろ大辰かき  
 しろしんちん  
 んありあがり  
 白のちんかき  
 しろしんちん  
 て石さかしの  
 しろしんちん  
 しろしんちん



弟さしは  
 ちんちん  
 弟のしん白  
 しろ大辰かき  
 しろしんちん  
 んありあがり  
 白のちんかき  
 しろしんちん  
 て石さかしの  
 しろしんちん  
 しろしんちん





竹之之之  
 竹之之之  
 思之平之の  
 白くく之を  
 切く押へる  
 思之之

一  
 二  
 三  
 四  
 五  
 六  
 七  
 八  
 九  
 十  
 十一  
 十二  
 十三  
 十四  
 十五  
 十六  
 十七  
 十八  
 十九  
 二十  
 二十一  
 二十二  
 二十三  
 二十四  
 二十五  
 二十六  
 二十七  
 二十八  
 二十九  
 三十  
 三十一  
 三十二  
 三十三  
 三十四  
 三十五  
 三十六  
 三十七  
 三十八  
 三十九  
 四十  
 四十一  
 四十二  
 四十三  
 四十四  
 四十五  
 四十六  
 四十七  
 四十八  
 四十九  
 五十

竹之之之  
 竹之之之  
 思之平之の  
 白くく之を  
 切く押へる  
 思之之

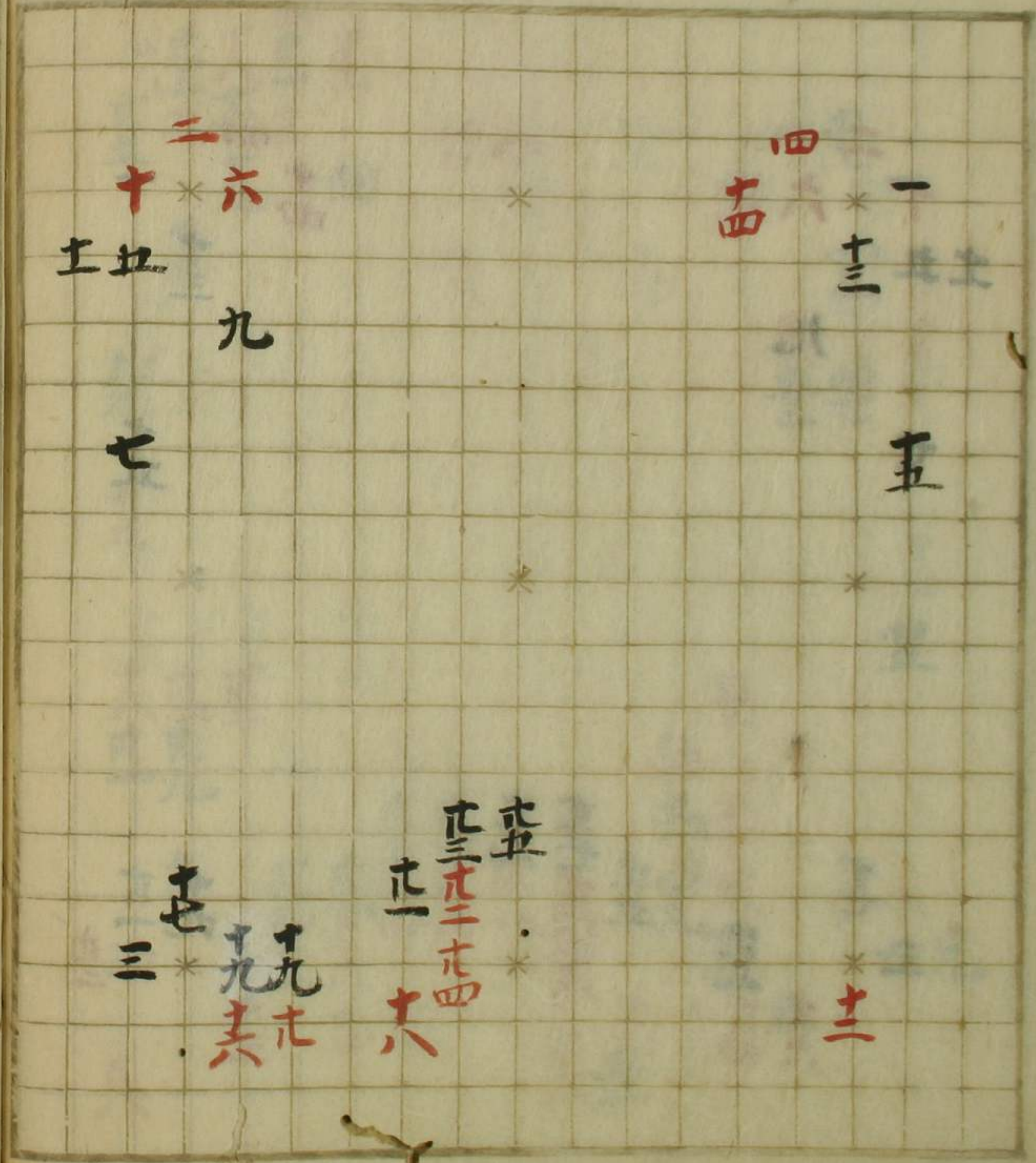
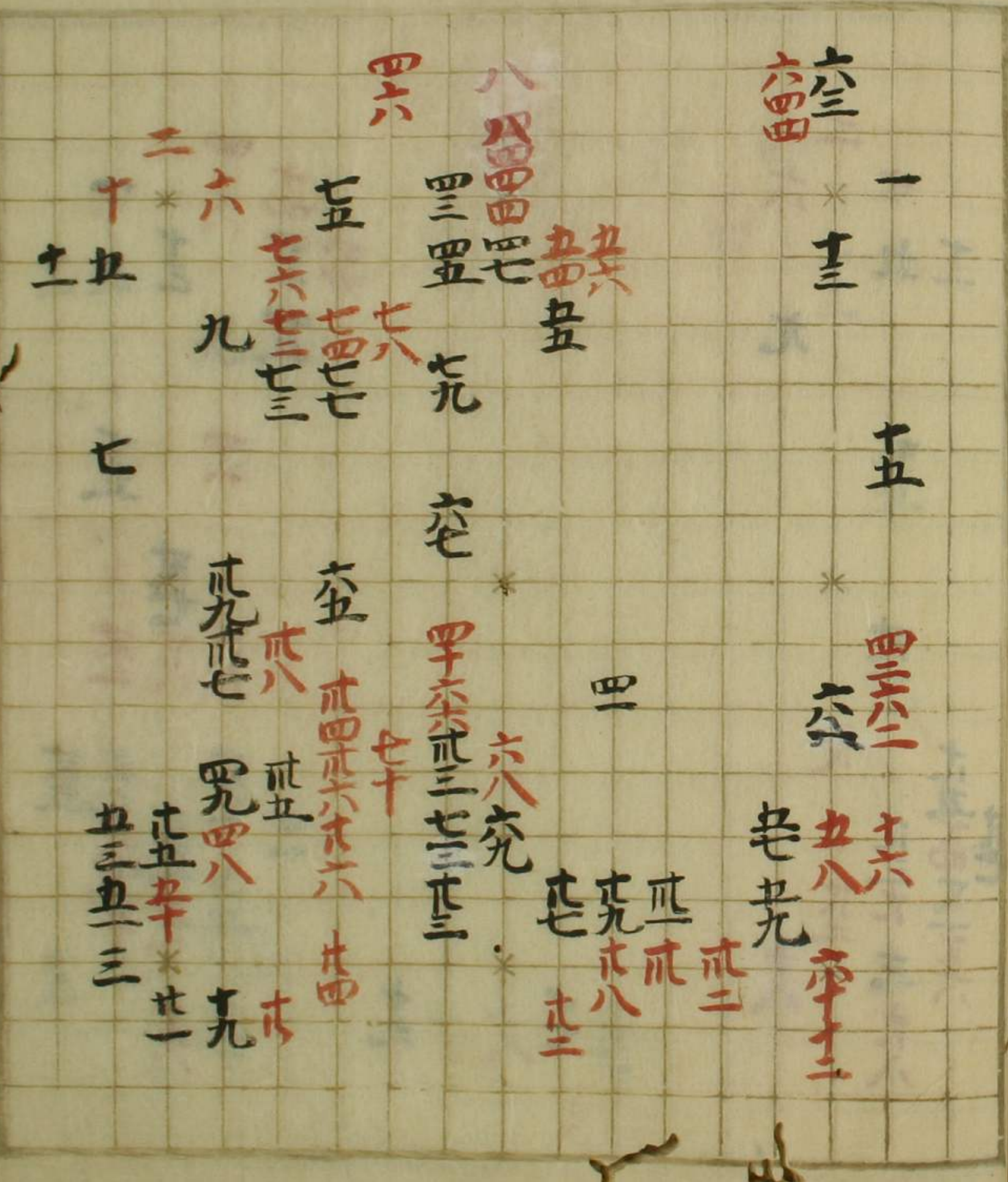
一  
 二  
 三  
 四  
 五  
 六  
 七  
 八  
 九  
 十  
 十一  
 十二  
 十三  
 十四  
 十五  
 十六  
 十七  
 十八  
 十九  
 二十  
 二十一  
 二十二  
 二十三  
 二十四  
 二十五  
 二十六  
 二十七  
 二十八  
 二十九  
 三十  
 三十一  
 三十二  
 三十三  
 三十四  
 三十五  
 三十六  
 三十七  
 三十八  
 三十九  
 四十  
 四十一  
 四十二  
 四十三  
 四十四  
 四十五  
 四十六  
 四十七  
 四十八  
 四十九  
 五十



弟あまの  
 白くまの柳  
 かしてま  
 のうまの  
 かんりう  
 文一

弟あまの  
 白くまの柳  
 かしてま  
 のうまの  
 かんりう  
 文一

弟あまの  
 白くまの柳  
 かしてま  
 のうまの  
 かんりう  
 文一

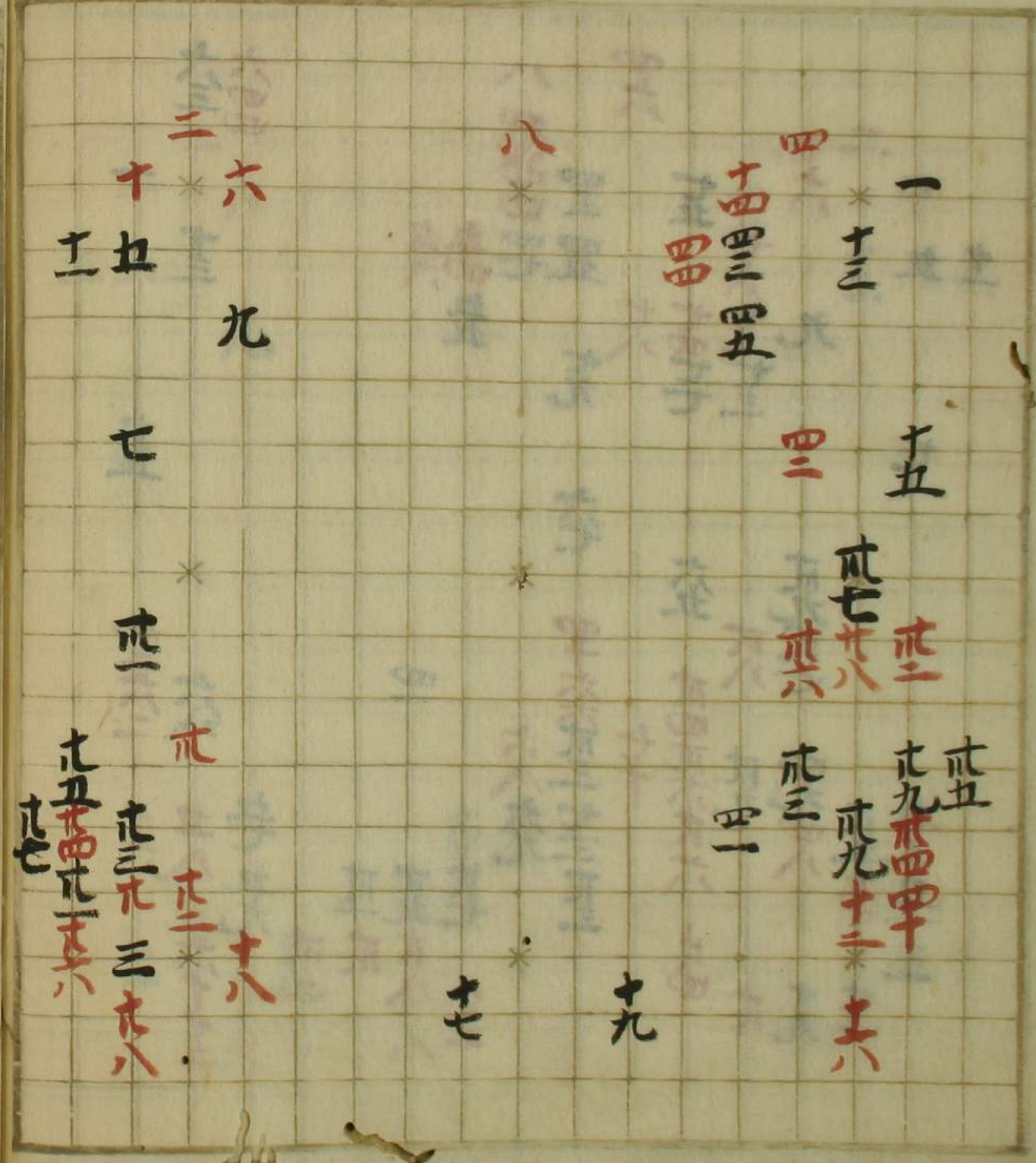
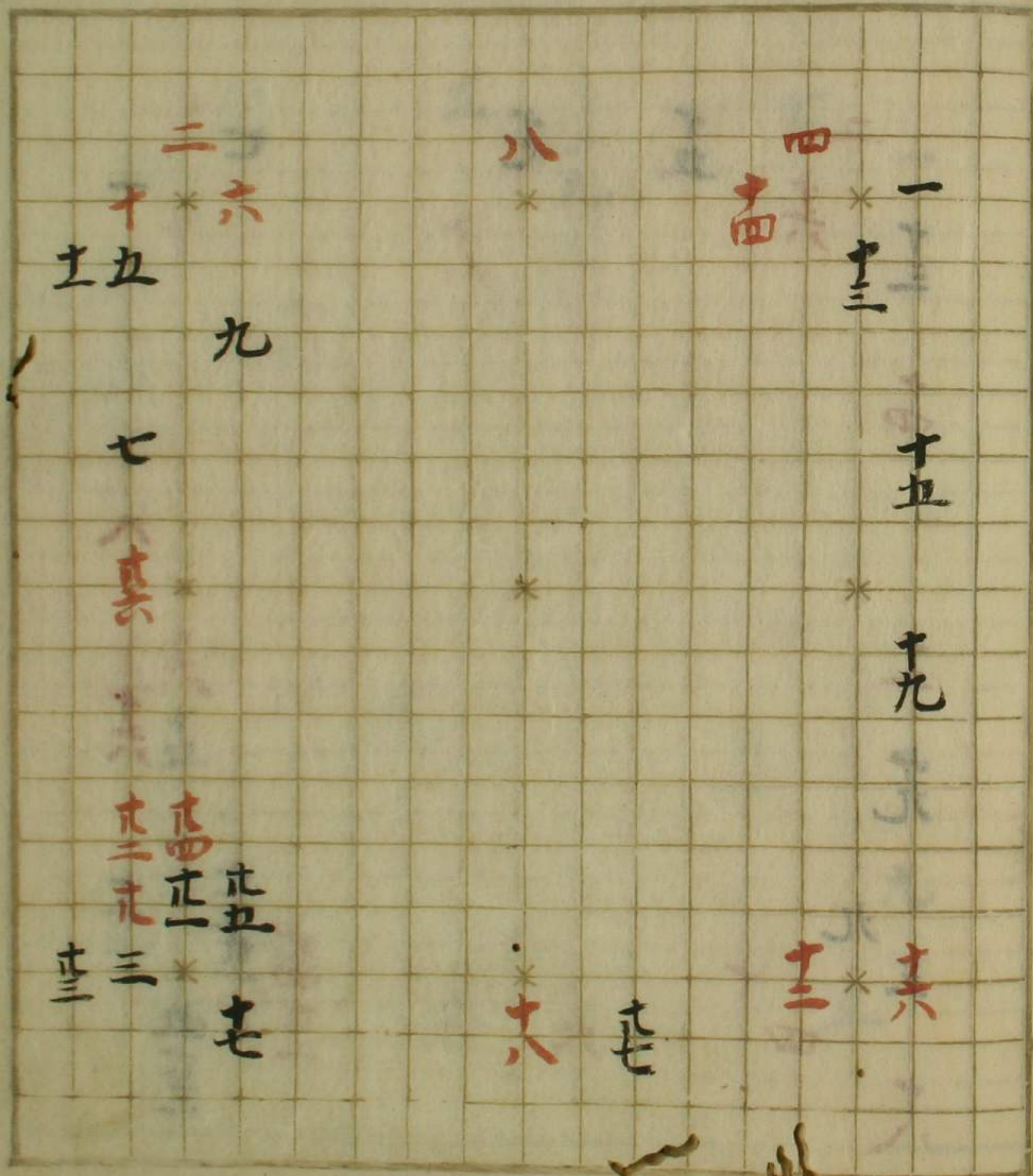




第六之亦七  
軍力也

近之長命小  
してとる獲人  
ハ多し一之

第六之亦七  
軍力也  
先獲人多  
し一之

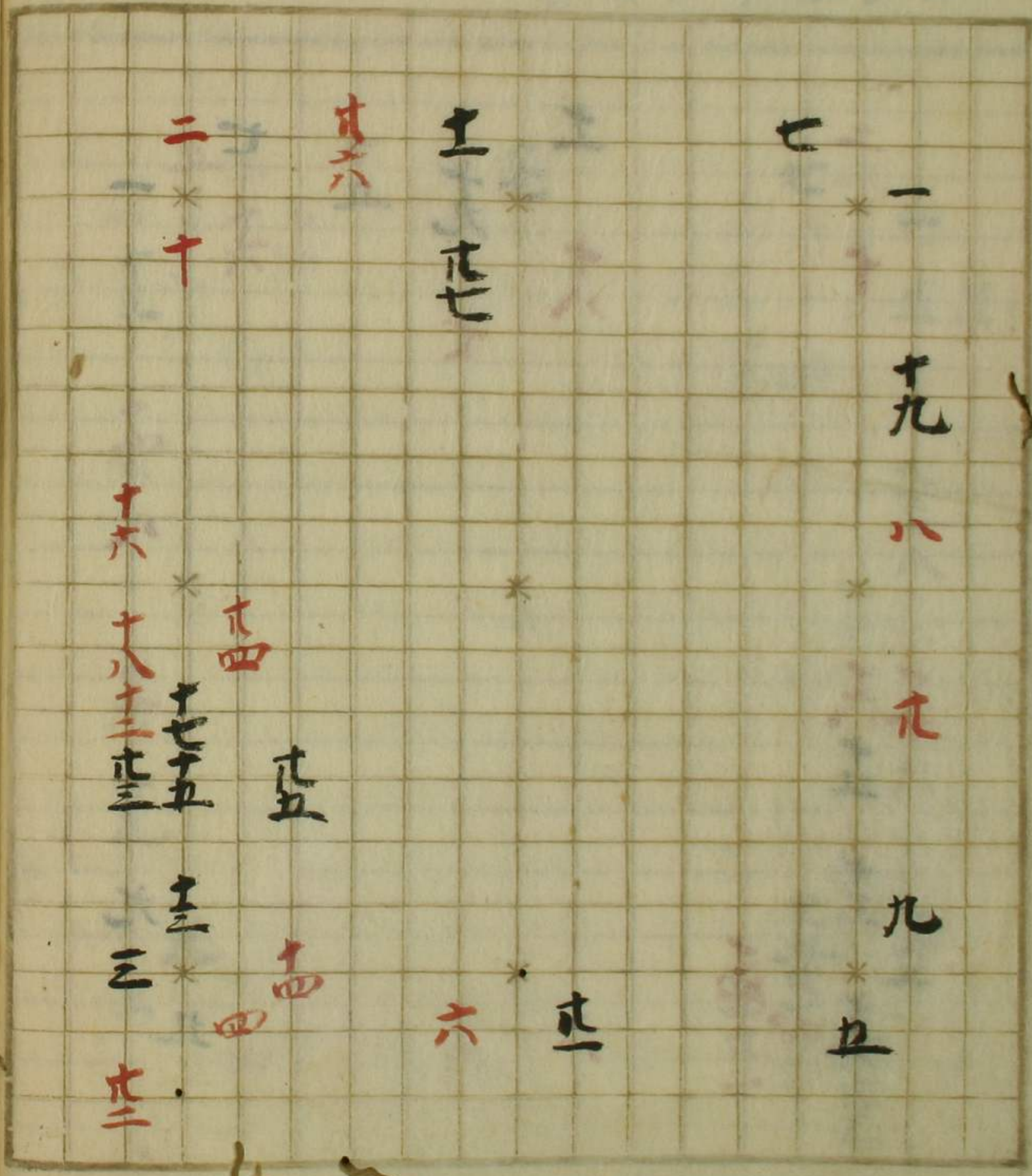




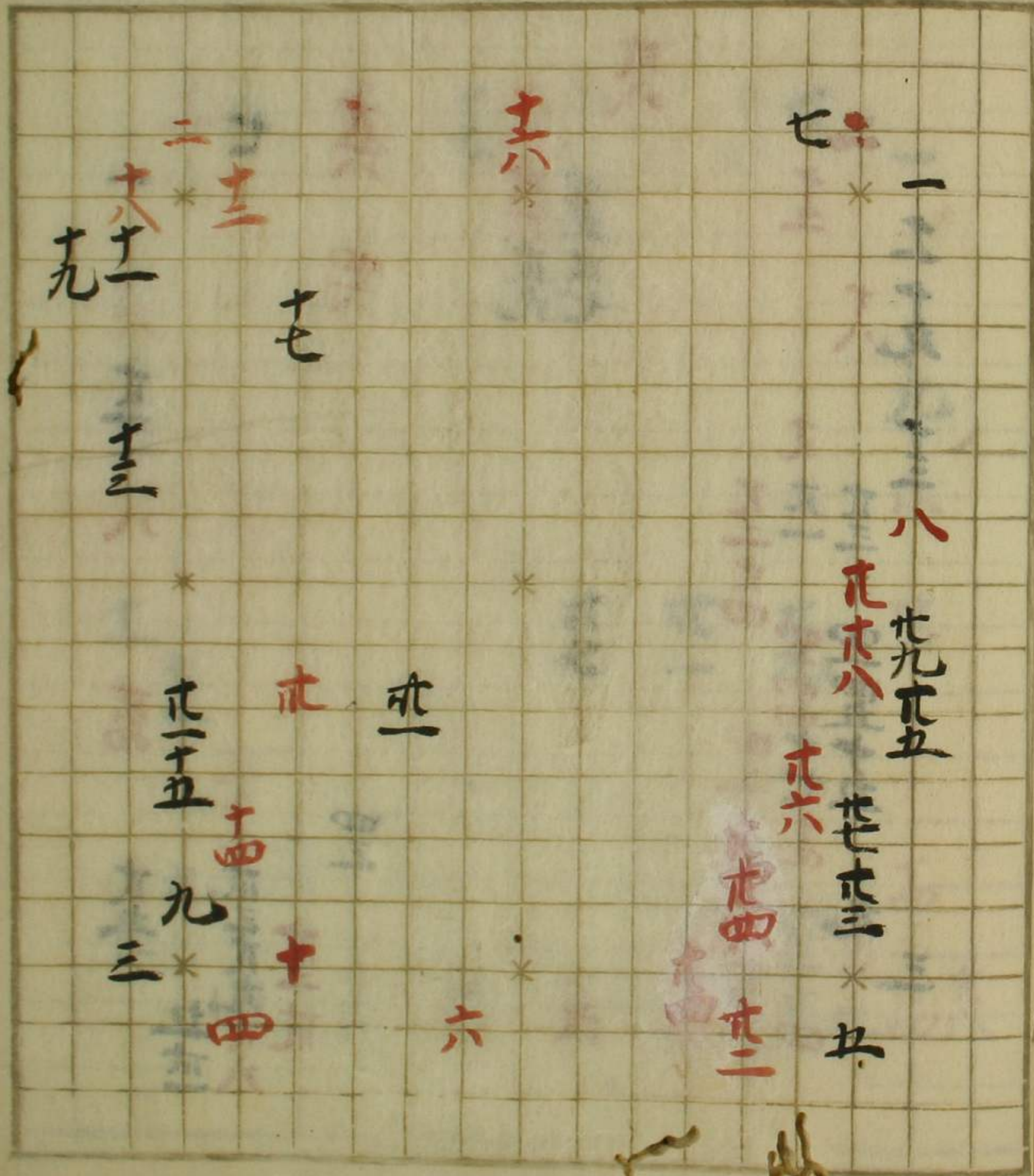




第七之三  
 白糸のく  
 歩平の場  
 白糸のく  
 思先勝した  
 白の糸は末  
 て初歩力の  
 打金ミミ  
 う



第七之四  
 糸のく  
 白糸のく  
 思先勝した  
 白の糸は末  
 て初歩力の  
 打金ミミ  
 う



Handwritten notes at the bottom of the pages, possibly indicating the end of the page or a section.



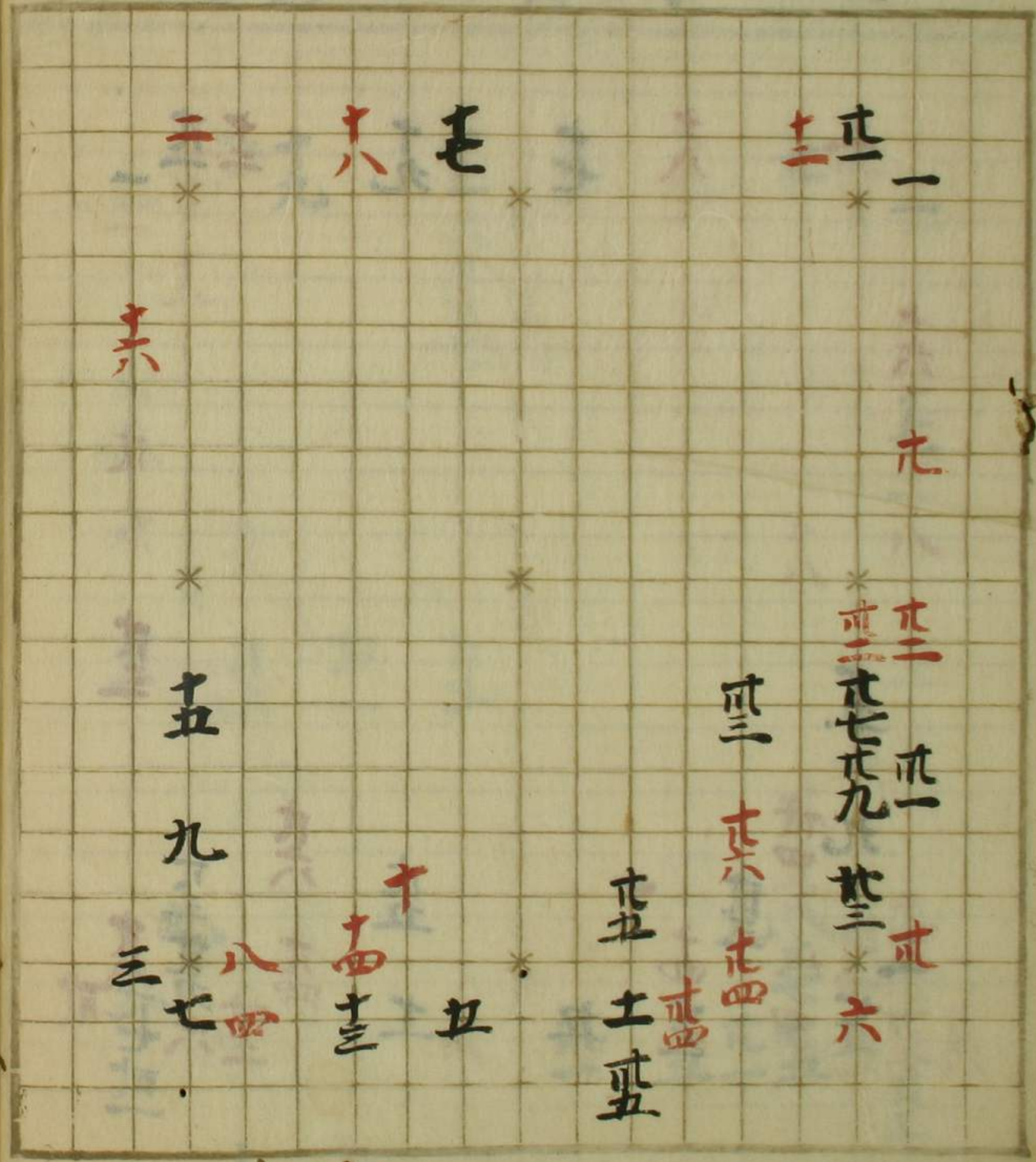




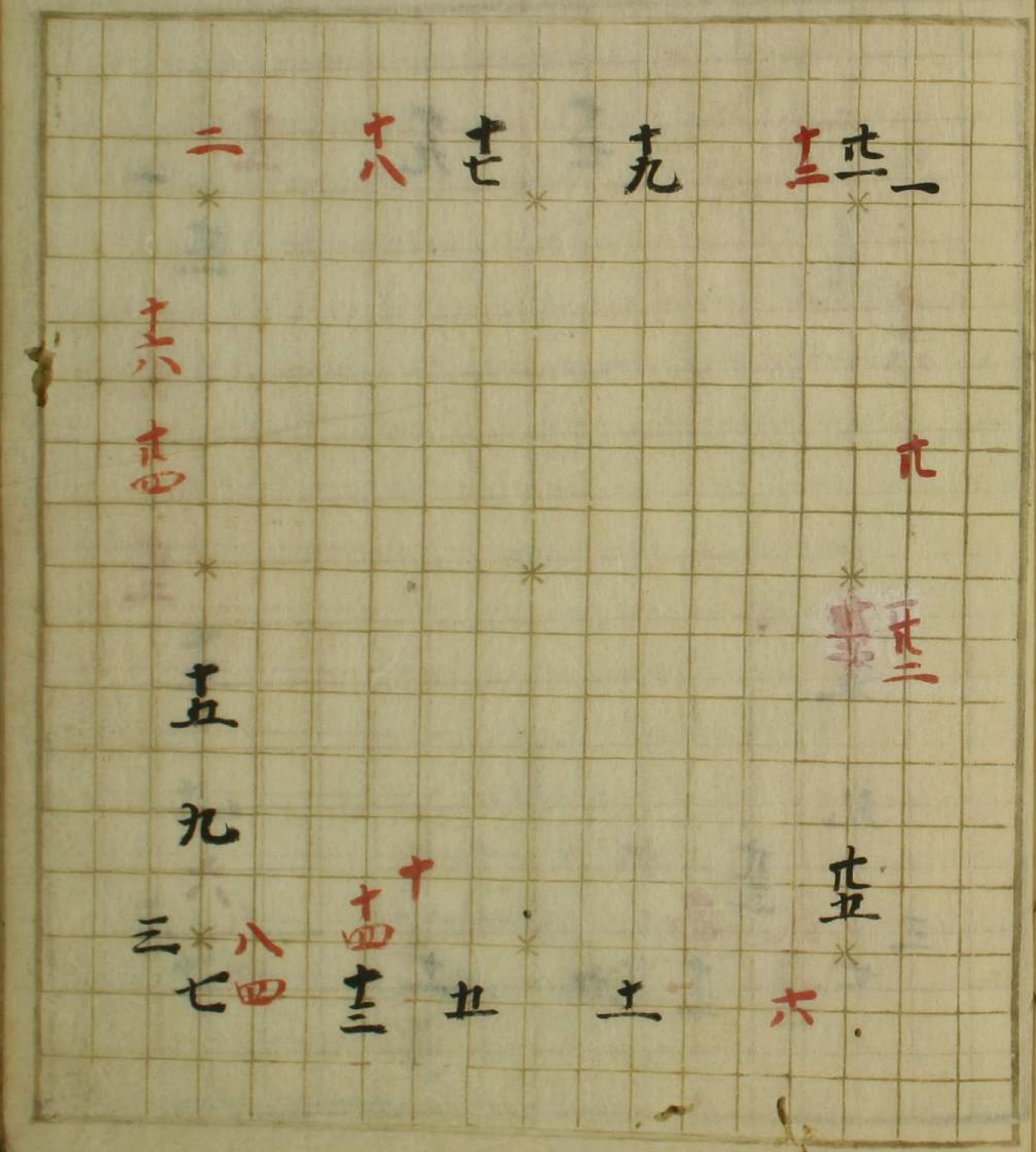




第七十九  
 一 二 三 四 五 六 七 八 九  
 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十  
 廿一 廿二 廿三 廿四 廿五 廿六 廿七 廿八 廿九 三十



第七十  
 一 二 三 四 五 六 七 八 九  
 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十  
 廿一 廿二 廿三 廿四 廿五 廿六 廿七 廿八 廿九 三十





并七三十一  
九三三

めわりの六有ふ  
あけの思ふこと  
あまのわらう  
はたす書の信  
むけよむあま  
白のまことら  
様てしほし  
白の天月少少  
時の思ふこと  
はたす白中  
信すれはわら  
思ふあまの  
んらう

并七三十一

あまのわらう  
あまの思ふこと  
あまのわらう  
あまの思ふこと  
あまのわらう  
あまの思ふこと  
あまのわらう  
あまの思ふこと  
あまのわらう  
あまの思ふこと

一  
正

木

正三

六

九

七

二

六

五

九

三

土

五

六  
十三

正三

三七

八  
四

一

九

六

七

六

七

正三

九

正三

十三

五

九

二

七

八  
四

三七







